

CT-S1 Casiotone

取扱説明書



電源の準備



電源の入れ方、切り方



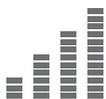
ヘッドホン(別売品)
と接続する



いろいろな楽器の
音色で弾く



音の高さを半音単位
で変える(トランス
ポーズ)



音の高さを微調整する
(チューニング)



鍵盤から指を離れた
後の音の余韻を残す
(サステイン)



楽器の設定を保存する・
読み込む(マイセット
アップ)

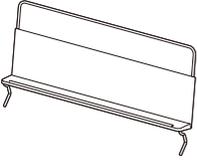
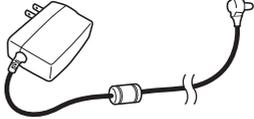


機能設定を変更する



困ったときは

付属品一覧

 <p>譜面立て</p>	 <p>ストラップロック (譜面立てに同梱されています。)</p>	 <p>ACアダプター: AD-E95100L</p>	リーフ類 • カシオ電子楽器 保証書 • お客様へ
--	--	--	------------------------------------

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問い合わせください。(ACアダプターは別売品で購入可能)
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
ペダル	SP-3
	SP-20
ACアダプター	AD-E95100LJ
ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター	WU-BT10
スタンド	CS-2X
ソフトケース	SC-650B
イス	CB-5
	CB-7
	CB-30

- カシオ電子楽器取扱店で購入可能。
- 別売品の詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://support.casio.jp/emi/manual/CT-S1/>

本書の内容について

- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんが、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

目次

全体ガイド	3
演奏の準備	5
電源の準備	5
譜面立ての準備	8
ヘッドホン(別売品)と接続する	9
ペダル(別売品)と接続する	9
ワイヤレス MIDI & AUDIO アダプター(別売品)と接続する	10
ストラップ(市販品)を取り付ける	11
鍵盤で演奏する	12
電源の入れ方、切り方	12
音量を調節する	14
メトロノームを使う	14
デモ演奏を聴く	18
音を変えて弾く(演奏する)	20
いろいろな楽器の音色で弾く	20
好きな音色を主要音色ボタンに登録する(トーンメモリー)	21
鍵盤を押す強さに対する音量を調節する(タッチレスポンス)	22
ペダルを使う	24
鍵盤から指を離れた後の音の余韻を残す(サステイン)	25
音の響きを変える(リバーブ)	27
立体的な広がりのある音にする(サラウンド)	28
2つの音色を重ねる(レイヤー)	29
音の高さをオクターブ単位で変える(オクターブシフト)	31
音の高さを半音単位で変える(トランスポーズ)	32
音の高さを微調整する(チューニング)	33
鍵盤の音律(スケールチューニング)を変える	34
音質を補正する(イコライザー)	37
演奏を録音する(MIDI レコーダー)	38
演奏を録音・再生する	38
録音した演奏の音量を変える	40
録音した演奏を消去する	40
楽器の設定を保存する・読み込む(マイセットアップ)	41
マイセットアップに保存する	41
マイセットアップから読み込む	42
機能設定を変更する	43
設定操作について	43
設定に使用する鍵盤一覧	44

外部機器と接続する	53
スマートデバイスとリンクする (APP 機能)	53
パソコンと接続して MIDI を使う	55
オーディオ機器とケーブルで接続する	57
Bluetooth オーディオ対応機器の音を鳴らす (Bluetooth オーディオペアリング)	59
Bluetooth オーディオ対応機器とのペアリング登録を消去する	60
Bluetooth MIDI 対応機器と接続する	61
Bluetooth 機能をオフにする	61
資料	62
困ったときは	62
製品仕様	64
音色リスト	66
設定項目一覧	69
MIDI インプリメンテーション・チャート	

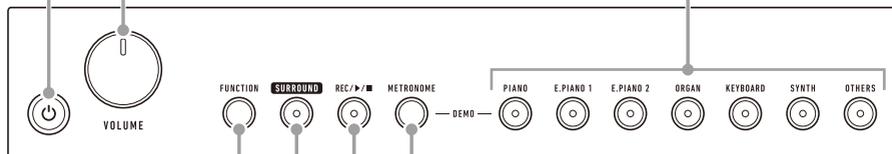
全体ガイド

■フロントパネル部

⏻ (電源) ボタン 12ページ

音量 **VOLUME**つまみ 14ページ

主要音色ボタン 20ページ

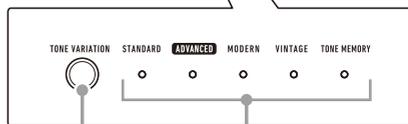
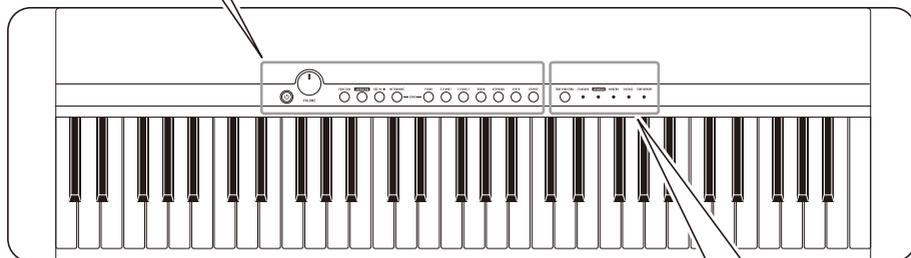


メトロノーム
METRONOMEボタン 14ページ

録音/スタート/ストップ
REC/▶/■ ボタン 38ページ

サラウンド
SURROUNDボタン 28ページ

ファンクション
FUNCTIONボタン 43ページ



トーンバリエーション
TONE VARIATIONボタン 20ページ

トーンバリエーションLED
TONE VARIATION LED 20ページ

- 12マークの数字は参照ページです。

■背面部

USB TO HOST端子 [53ページ](#)

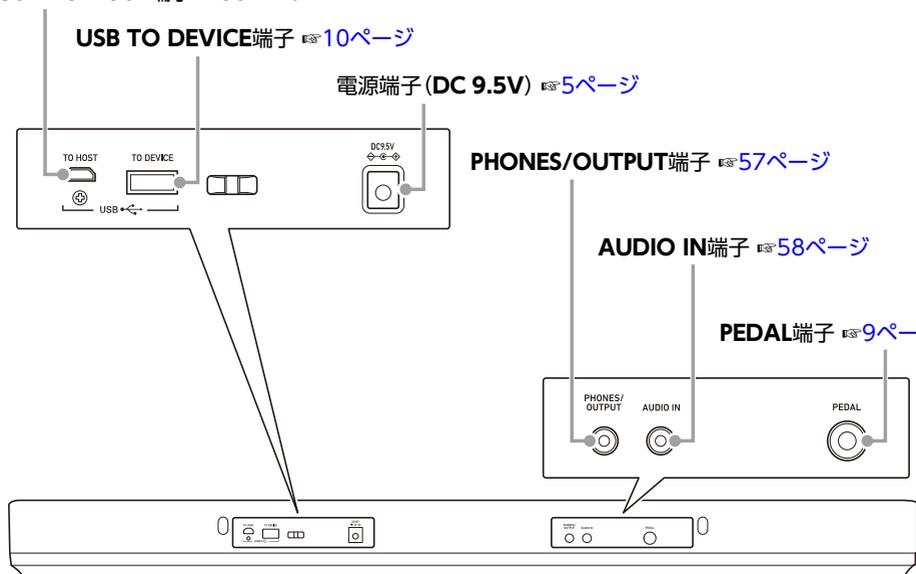
USB TO DEVICE端子 [10ページ](#)

電源端子 (DC 9.5V) [5ページ](#)

PHONES/OUTPUT端子 [57ページ](#)

AUDIO IN端子 [58ページ](#)

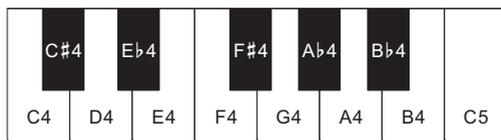
PEDAL端子 [9ページ](#)



- マークの数字は参照ページです。

■鍵盤の音名と音高について

本書では鍵盤の音名と音高を国際式 (中央ド = 「C4」) で表記しており、一番低いドの鍵盤を「C2」、一番高いドの鍵盤を「C7」と呼びます。各鍵盤の音名表記は下記のとおりです (図はC4からC5までの例です)。



演奏の準備

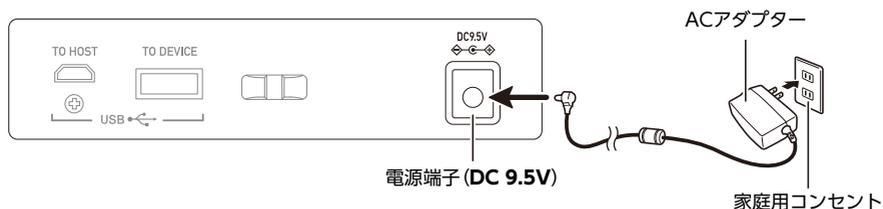
電源の準備

この楽器は電源としてACアダプターか電池を使用できますが、基本的にはACアダプターを使用されることをお勧めします。

ACアダプターを使う場合

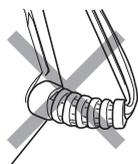
本機指定のACアダプター (JEITA規格・極性統一形プラグ付き) を使用してください。他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

ACアダプターの型式: AD-E95100L (JEITA Standard plug)

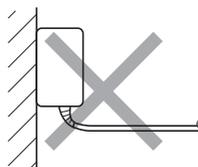


重要

- ACアダプターを差したり抜いたりする前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 長時間ご使用になりますとACアダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。
- 断線防止のため、コードになるべく負荷がかからないようご注意ください。



折り曲げない



引っ張らない



巻きつけない

- 本機の電源端子 (DC 9.5V) に、金属片や鉛筆などを入れないようご注意ください。これらが端子に入ると、事故の原因になります。

電池を使う場合

重要

- 電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。
- 電池は市販の単3形アルカリ乾電池または単3形充電式ニッケル水素電池をご使用ください。
- 電池が消耗すると、本機が正常に動作しなくなる場合があります。このような現象が発生したときは、新しい電池に交換する、または充電電池を充電してください。

■電池について

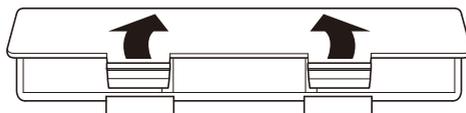
充電電池を使用するときは、次のことに注意してください。

- 充電電池は、パナソニックグループ製の単3形eneloop（エネルーブ）をご使用ください。これ以外の充電電池は使用しないでください。
- 充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- 充電電池を製品本体にセットしたままでは充電できません。
- eneloopおよび専用の充電器を使用する場合は、各製品に付属の取扱説明書や注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

電池消耗状態のお知らせがなくても、1年に一度は必ず電池交換をしてください。

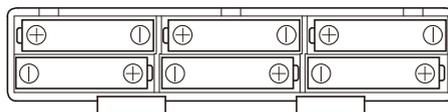
特に消耗した充電電池（eneloop）を本機に入れたままにすると、充電電池を劣化させる恐れがあるので、すぐに取り出してください。

1. 本機の裏側にある電池ケースのフタを開けます。



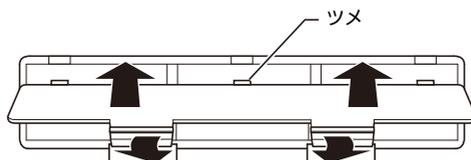
2. 市販の単3形電池6本を電池ケースに入れます。

- ⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。



3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、フタを閉じます。

- 電池の種類を設定してください。

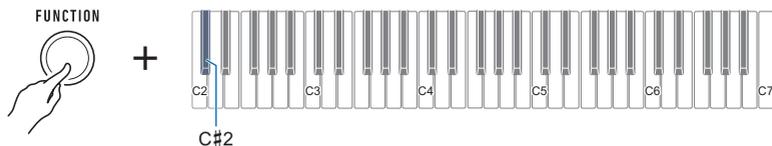


■電池の種類を設定する

1. 本機の電源を入れます。

- 12ページ「電源の入れ方、切り方」をご覧ください。

2. FUNCTIONを押したまま、C#2鍵盤を押します。



- C#2鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
音が1回発音: アルカリ乾電池
音が2回発音: 充電式ニッケル水素電池

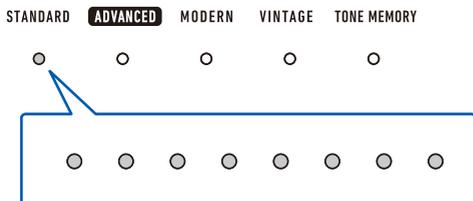
3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

■電池の消耗状態お知らせ機能

電池が消耗してくると、TONE VARIATION LEDが点滅します。
新しい電池と交換してください。

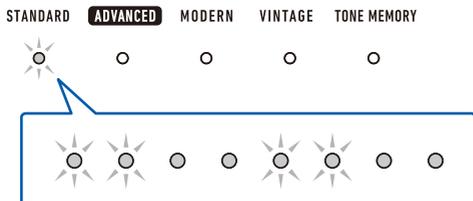
電池の残量が十分にあります。

TONE VARIATION LEDが点灯します。

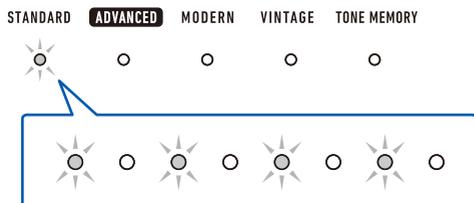


電池の消耗が進んでいます。

点灯していたTONE VARIATION LEDが数秒おきに点滅します。



電池交換の時期にきています。
点灯していたTONE VARIATION LEDが点滅します。



メモ

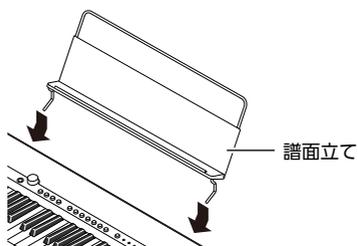
- 電池の消耗状態によっては、音の歪みなどが生じる場合があります。
- ヘッドホンを使用したり音量を下げたりすることで、電池の消耗を抑えられます。

重要

- 電池が消耗したまま本機の使用を続けると、突然電源が切れることがあります。この場合、本機に記録しているデータが破損・消失する恐れがあります。

譜面立ての準備

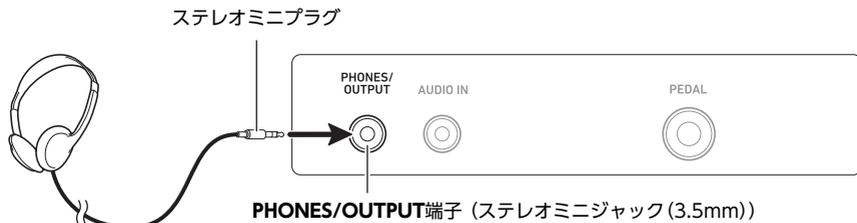
譜面立てを本体背面の穴に差し込みます。



ヘッドホン(別売品)と接続する

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- 本機の音量を絞ってから接続してください。



メモ

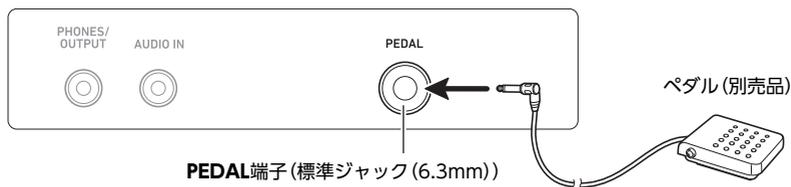
- ヘッドホンは本製品に同梱されておりません。
- 別売品 (CP-16) または市販品のヘッドホンがご使用になれます。
- ヘッドホン使用時は、サラウンドの効果はかかりません。

重要

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- ステレオミニプラグは、必ず3.5mmで3極のプラグをご使用ください。それ以外のタイプは適応しません。
- ヘッドホンのプラグの形状が端子にあわない場合は、市販の変換プラグをご使用ください。
- ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。

ペダル(別売品)と接続する

ペダルを使用するときは、背面端子部のPEDAL端子に接続してください。



メモ

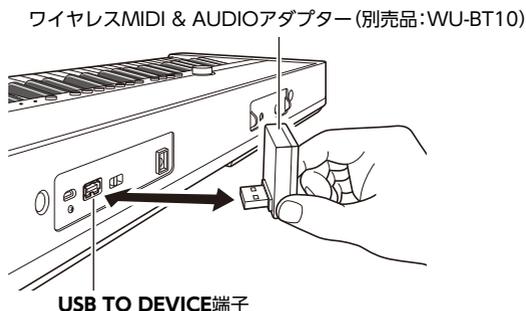
- ペダルは本製品に同梱されておりません。
- 別売品 (SP-3、SP-20) のペダルがご使用になれます。

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター(別売品)と接続する

本機とBluetoothに対応した外部機器をペアリングするには、ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを**USB TO DEVICE**端子に接続してください。

重要

- ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを接続するときは、本機の電源を切ってください。

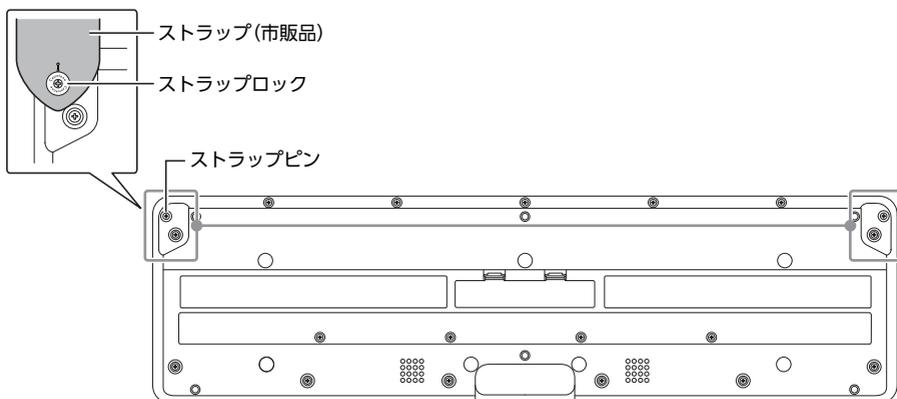


メモ

- ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターは本製品に同梱されておりません。
- Bluetoothに対応した外部機器と接続するときは、[59ページ「Bluetoothオーディオ対応機器の音を鳴らす \(Bluetoothオーディオペアリング\)」](#)をご参照ください。
- ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターは、お住まいの国や地域によって販売していない場合があります。

ストラップ(市販品)を取り付ける

1. 本機の裏側左右にあるストラップピンに、ストラップ(市販品)を取り付けます。
2. ストラップピンにストラップロックをかぶせます。



⚠ 重要

- ストラップ取り付け後、ストラップと本機が確実に固定されていることを確認してください。
- ストラップだけを持って本機を持ち上げないでください。本機がストラップからはずれて落下する恐れがあります。
- 底面のへこみ部は持ち運び用のグリップではありません。本機を移動するときは、必ず両手でお持ちください。
- ストラップロックが変形や破損した場合は、ストラップロックを交換してください。

鍵盤で演奏する

電源の入れ方、切り方

1. **⏻** (本機の電源をコントロールするボタン、以降「**⏻** (電源)」) を押して、本機の電源を入れます。

数秒後に使用可能となります。



2. 本機の電源を切るには、すべてのLEDが消灯するまで **⏻** (電源) を長押しします。

! 重要

- 本機の電源を切ると、音色などの各種設定が初期化されます。ただし、以下の設定は保存されます。
 - MIDIアウトチャンネル(メインパート、レイヤーパート)
 - Bluetooth
 - 起動時マイセットアップ
 - オートパワーオフ機能
 - 電池の種類

メモ

- **⏻** (電源) で電源を切ったあとも、本機は微電流が流れているスタンバイ状態になっています。本機を長時間使用しないとき、あるいは落雷のおそれがあるときは、必ずACアダプターをコンセントから外してください。
- 電源を入れたときに自動的にマイセットアップを読み込むように設定できます。[42ページ「起動時にセットアップを読み込む」](#)をご覧ください。

オートパワーオフ機能

本機を使用中、30分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。

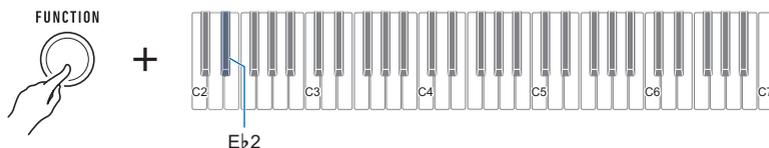


- メトロノーム機能の使用中等では、楽器を弾いていなくても、電源は自動的に切れません。

■オートパワーオフ機能をキャンセルして使う

コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないよう、オートパワーオフ機能をキャンセルして使用できます。

1. FUNCTIONを押したまま、Eb2鍵盤を押します。



- Eb2鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
高い音が発音: オン
低い音が発音: オフ

2. オフに設定にしたら、FUNCTIONを離して終了します。

音量を調節する

1. **VOLUME**つまみを回します。
音量が変わります。



メトロノームを使う

メトロノームを使うと一定の間隔で音を刻みますので、演奏や練習のときにテンポを正しく保つことができます。自分にあったテンポで練習しましょう。

スタート/ストップ

1. **METRONOME**を押します。
メトロノームが鳴り出します。

METRONOME



2. もう1回**METRONOME**を押すとメトロノームが止まります。

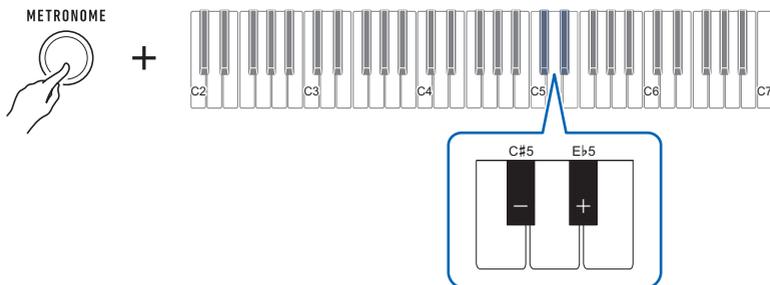
拍子を変える

曲の拍子に合わせて1拍目に「チーン」と鳴らし、それ以外の拍では「カチ」と鳴らすことができます。

- 設定は、オフ(0)、1～16拍子から選べます。オフ(0)になると、区切り音が鳴ります。

1. メトロノームを鳴らします。

2. **METRONOME**を押したまま、C#5鍵盤またはEb5鍵盤を押して拍子を変更します。



- オフ(0)を選ぶと「チーン」と鳴りません。拍子を気にすることなく練習したいときに使います。
- -/+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

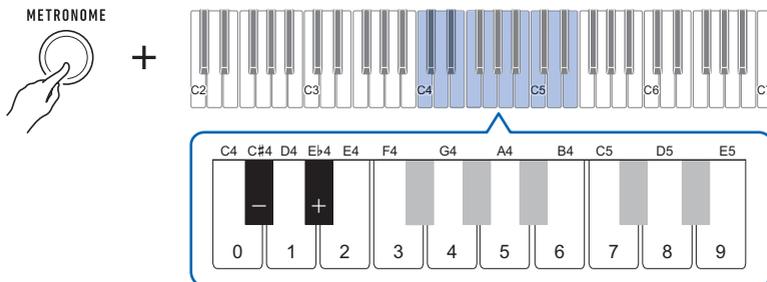
3. **METRONOME**を離して設定を終了します。

メトロノームのテンポを変える

自分の弾きたいテンポとメトロノームのテンポを合わせます。

1. メトロノームを鳴らします。

2. **METRONOME**を押したまま、C4～E5鍵盤を押してテンポを設定します。

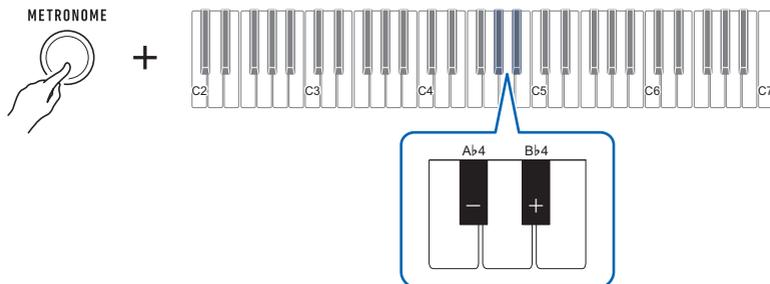


- テンポ値は、20～255の間で設定できます。
- テンポの-/+鍵盤を押すと、テンポが1ずつ上下します。ボタンを長押しすると連続して変えられます。
- 0～9鍵盤を押して、テンポの値を直接入力することもできます。
例：テンポ80なら、“8→0”と入力します。手順3で**METRONOME**を離すまで、テンポは変わりません。
テンポ120なら、“1→2→0”と入力します。3桁目を入力するとすぐにテンポが変わります。
- -/+鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

3. **METRONOME**を離して設定を終了します。

メトロノームの音量を変える

1. メトロノームを鳴らします。
2. **METRONOME**を押したまま、A♭4鍵盤またはB♭4鍵盤を押して音量を設定します。



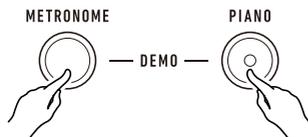
- 音量は0~10の範囲で設定できます。
- -/+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

3. **METRONOME**を離して設定を終了します。

デモ演奏を聴く

デモ曲は、カシオオリジナルの音色デモ曲とピアノデモ曲があります。

1. METRONOMEとPIANOを同時に押します。



PIANOが点滅し、音色デモ曲が再生されます。



- 音色デモ曲の一部ではサラウンド効果がかかり、**SURROUND**が点灯します。



- 音色デモ曲が連続再生されます。

2. ピアノデモ曲を再生したい場合は、**PIANO**を押します。

ピアノデモ曲の1曲目が再生されます。

- 内蔵しているピアノデモ曲10曲が連続再生されます。

3. ピアノデモ曲から好きな曲を選ぶには、**PIANO**を押したまま、C2～A2鍵盤のいずれか1つを押します。

選んだピアノデモ曲が再生されます。

鍵盤音名	曲名
C2	トルコ行進曲(モーツァルト)
C#2	楽興の時 第3番
D2	ト長調のメヌエット
Eb2	インヴェンション 第1番
E2	プレリュード 第1番(J.S.バッハ)
F2	かっこう
F#2	アラバスク(ブルクミュラー)
G2	貴婦人の乗馬
Ab2	楽しき農夫
A2	見知らぬ国と人々について「子供の情景」より

4. もう1回**PIANO**を押すと、音色デモ曲に戻ります。

5. 再生を止めるには**REC/▶/■**を押します。

REC/▶/■



- **METRONOME**ボタンを押しても再生が止まります。

音を変えて弾く(演奏する)

いろいろな楽器の音色で弾く

この楽器は、さまざまな鍵盤楽器の音色で演奏ができます。ピアノ、オルガンなどの主要音色は専用ボタンで簡単に選べます。同じ曲でも楽器の種類を替えて弾けば、さらに多彩な演奏が楽しめます。

主要音色を選んで弾く

1. 主要音色ボタンのいずれか1つを押します。

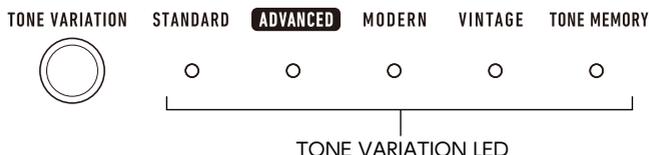
- 押したボタンが点灯し、音色が変わります。



2. 音色のバリエーションを切り替える場合は、**TONE VARIATION**を押します。

押すたびに音色のバリエーションが切り替わります。

- 選んだTONE VARIATION LEDが点灯します。



メモ

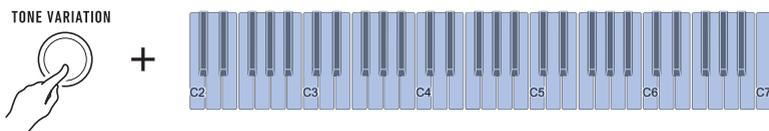
- 主要音色ボタンで音色を選んだ場合、以下の設定が初期値に戻ります。

- レイヤー
- パート音量(メイン)
- サステイン
- サステインタイム(メインパート)
- リバース
- ペダル効果パート(メイン)

音色を選んで弾く

1. **TONE VARIATION**を押したまま、C2~C7鍵盤のいずれか1つを押します。

選んだ音色が鳴ります。

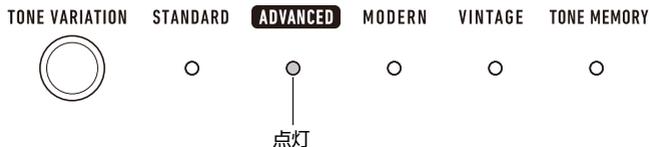


- 選んだ音色と同じカテゴリーのTONE VARIATION LEDが点灯します。
- 鍵盤ごとに音色が割り当てられています。音色は[66ページ「音色リスト」](#)をご参照ください。

2. **TONE VARIATION**を離して設定を終了します。

■アドバンスドトーンについて

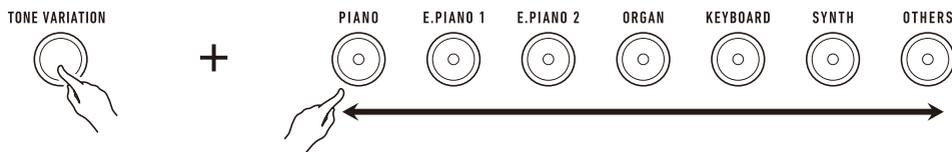
TONE VARIATION LEDの**ADVANCED**が点灯する音色をアドバンスドトーンといいます。特殊な音源コントロールや奏法、音色表現などがされている音色です。



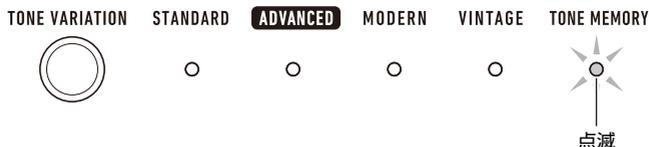
好きな音色を主要音色ボタンに登録する(トーンメモリー)

トーンメモリー機能を使うと、音色やレイヤー設定、オクターブシフト設定などを主要音色ボタンに登録できます。登録した音色は、特定の曲を演奏する際など、必要に応じて呼び出すことができます。

1. TONE VARIATIONを押したまま、登録したい主要音色ボタンを押します。



通知音が鳴り、TONE VARIATION LEDの**TONE MEMORY**が一時的に点滅して、音色設定が登録されます。



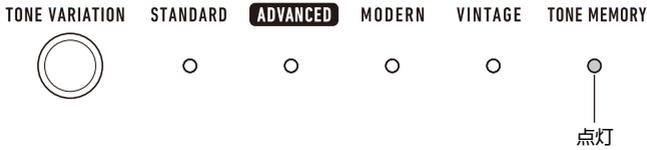
- TONE VARIATION LEDの**TONE MEMORY**と登録した主要音色ボタンが点灯して、音色が選ばれた状態になります。
- 主要音色ボタンごとに1つずつ、最大7つの設定を登録できます。

■登録できる項目

- サステイン
- 音色(メイン、レイヤー)
- レイヤー
- パートオクターブシフト(メイン、レイヤー)
- サステインタイム(メインパート、レイヤーパート)
- パート音量(メイン、レイヤー)
- ペダル効果パート(メイン、レイヤー)
- リバーブタイプ

■登録した音色を呼び出す

1. TONE VARIATION LEDのTONE MEMORYが点灯していることを確認します。



- 消灯している場合は、**TONE VARIATION**を何度か押して、TONE VARIATION LEDの**TONE MEMORY**を点灯させます。

2. 音色設定を登録した主要音色ボタンを押します。

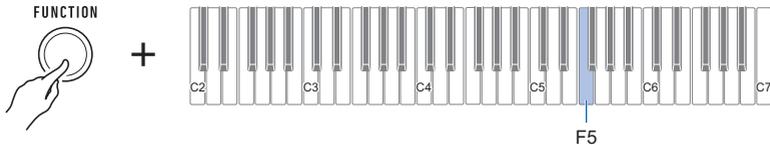
登録されている音色に切り替わります。

鍵盤を押す強さに対する音量を調節する(タッチレスポンス)

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を押す強さ(速さ)で音量を変化させる機能です。タッチレスポンス機能を使うと、本物のピアノのように鍵盤を押す強さ(速さ)で音量が変化し、演奏の表現が豊かになります。

タッチレスポンスの感度を変える

1. FUNCTIONを押したまま、F5鍵盤を押します。



- F5鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。

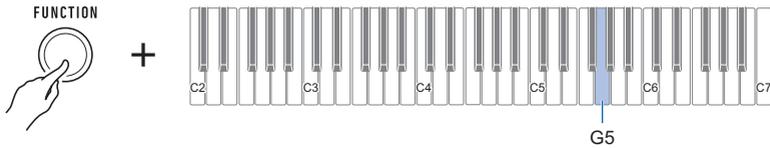
通知音	設定の種類	内容
低い音が1回発音	オフ	強さに対する変化はありません。
高い音が1回発音	軽い	普通より大きな音が出やすく、軽く感じます。
高い音が2回発音	普通	標準的な設定です。
高い音が3回発音	重い	普通より大きな音が出にくく、重く感じます。

2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

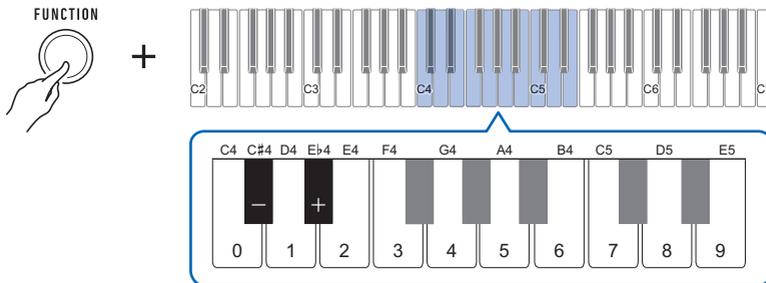
■タッチレスポンスがオフのときの音量を調節する(タッチオフベロシティ)

1. FUNCTIONを押したまま、G5鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



2. C4～E5鍵盤を使って、音量を設定します。



- 音量は1～127の範囲で設定できます。
- /+ 鍵盤を押すと、音量が1ずつ上下します。鍵盤を長押しすると連続して変えられます。
- 0～9鍵盤を押して、音量の値を直接入力することもできます。
例: 音量20なら、“2→0”と入力します。手順3でFUNCTIONを離すまで、音量は変わりません。
音量120なら、“1→2→0”と入力します。3桁目を入力するとすぐに音量が変わります。
- /+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

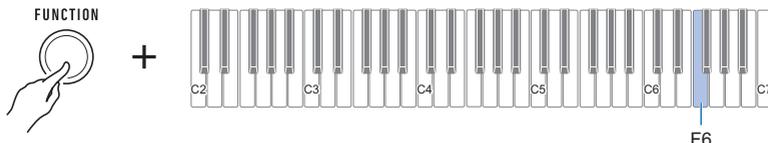
3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

ペダルを使う

ペダル(別売品:SP-3、SP-20)を使うと演奏にさまざまな変化がつけられます。初期状態のペダルにはペダルサステイン機能が割り当てられており、ダンパーペダルとして使用できます。

ペダルの機能を切り替える

1. FUNCTIONを押したまま、F6鍵盤を押します。



- F6鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。

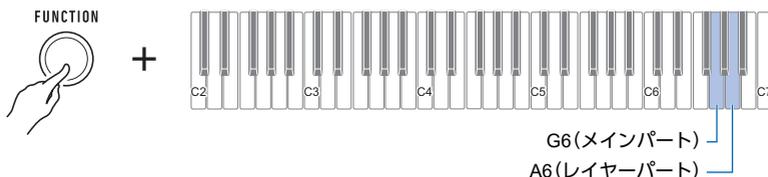
通知音	設定の種類	内容
音が1回発音	ペダルサステイン	ペダルを踏んでいる間は鍵盤を離しても押したままのときと同じように音が残ります。
音が2回発音	ソステヌート	鍵盤を押してからその鍵盤を離す前にペダルを踏むと、その音にだけペダルサステインと同じ効果がかかります。
音が3回発音	ソフト	ペダルを踏んでいる間に弾いた音を若干小さくします。
音が4回発音	メトロノーム	ペダルを踏むことで、メトロノームを鳴らしたり止めたりすることができます。

2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

■各パートのペダル機能の効果をオフにする

メインパートとレイヤーパートそれぞれに対する、ペダル機能の効果を切ることができます。

1. FUNCTIONを押したまま、G6鍵盤またはA6鍵盤を押します。



ペダル機能の効果がオフになります。

- G6鍵盤またはA6鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
 高い音が発音:オン
 低い音が発音:オフ
 オンにしたパートにはペダル機能の効果がかかり、オフにしたパートにはかかりません。

2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

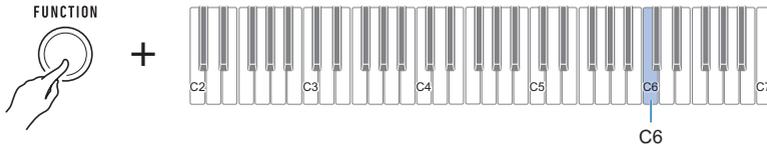


- パートについては、29ページ「2つの音色を重ねる(レイヤー)」をご参照ください。

鍵盤から指を離した後の音の余韻を残す(サステイン)

サステインをオンにすると鍵盤を離した後の音の余韻がより長く残ります。

1. FUNCTIONを押したまま、C6鍵盤を押します。



サステインがオンになります。

- C6鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
高い音が発音:オン
低い音が発音:オフ

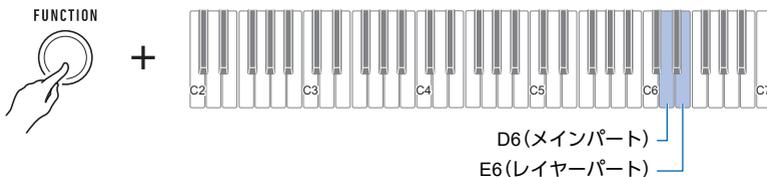
2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

各パートの音の余韻の長さを変える(サステインタイム)

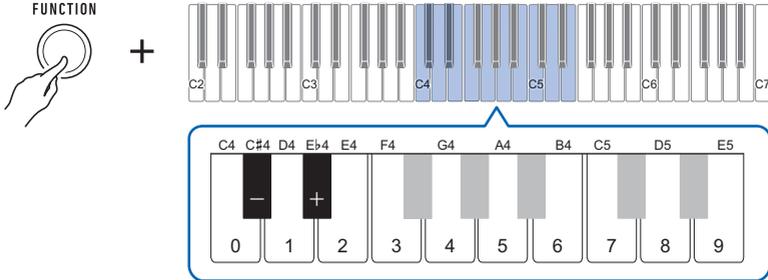
サステインがオンのときに、メインパートとレイヤーパートそれぞれの音の余韻の長さを変えることができます。

1. FUNCTIONを押したまま、D6鍵盤またはE6鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



2. C4～E5鍵盤を使って、音の余韻の長さを設定します。



- 音の余韻の長さは0～9の範囲で設定できます。
- -/+ 鍵盤を押すと、効果の大きさが1ずつ上下します。鍵盤を長押しすると連続して変えられます。
- -/+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

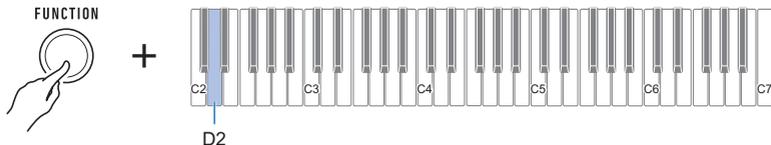
3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

音の響きを変える(リバーブ)

リバーブを使うと音に残響音を加えることができます。

1. FUNCTIONを押したまま、D2鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



通知音が鳴り、リバーブタイプの選択状態になります。

2. C2～C4鍵盤でリバーブタイプを選びます。

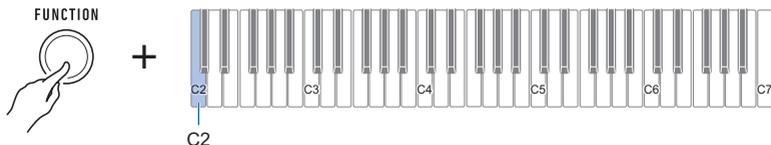
鍵盤音名	リバーブタイプ
C2	音色依存
C#2～F2	ルーム1～5
F#2～G2	ラージルーム1～2
A♭2～C#3	ホール1～6
D3～E3	スタジアム1～3
F3～F#3	プレート1～2
G3	ディレイ
A♭3	パンディレイ
A3～B♭3	ロングディレイ1～2
B3	教会
C4	聖堂

通知音が鳴り、リバーブタイプが設定されます。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

リバーブ機能による音の響きをなくす

1. FUNCTIONを押したまま、C2鍵盤を押します。



リバーブ機能がオフになります。

- C2鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
高い音が発音:オン
低い音が発音:オフ

2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

立体的な広がりのある音にする(サラウンド)

サラウンドをオンにすると、前後左右から立体的な広がりのある音になります。

1. SURROUNDを押します。

サラウンドがオンになります。

- **SURROUND**が点灯します。



2. もう1回SURROUNDを押すとサラウンドがオフになります。

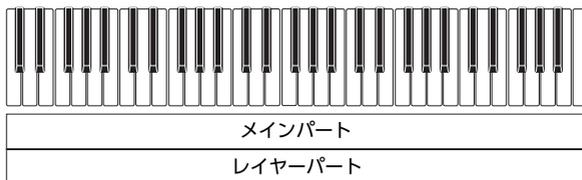
- **SURROUND**が消灯します。

メモ

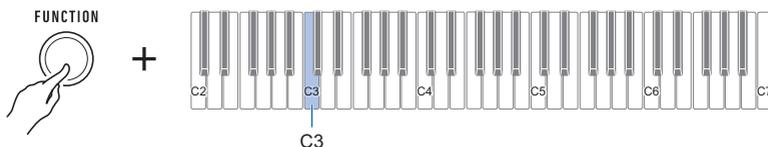
- ヘッドホン使用時は、サラウンドの効果はかかりません。
- ヘッドホンを接続するとサラウンド設定がオフになります。

2つの音色を重ねる(レイヤー)

2つの音色を重ねて鳴らすことができます。単一で鳴らすときに使うパートをメインパート、2音色を重ねて鳴らすときの2つ目のパートをレイヤーパートと呼びます。



1. FUNCTIONを押したまま、C3鍵盤を押します。

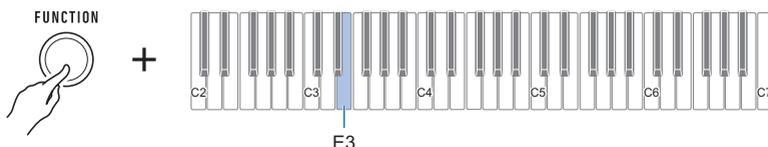


レイヤーがオンになり、音色が重なります。

- C3鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
高い音が発音: オン
低い音が発音: オフ

2. レイヤーパートの音色を選ぶには、FUNCTIONを押したまま、E3鍵盤を押します。

- 手順3までFUNCTIONを離さないでください。



3. C2～C7鍵盤のいずれか1つを押して音色を選びます。

選んだ音色が重なります。

- 鍵盤ごとに音色が割り当てられています。音色は[66ページ「音色リスト」](#)をご参照ください。

4. FUNCTIONを離して設定を終了します。

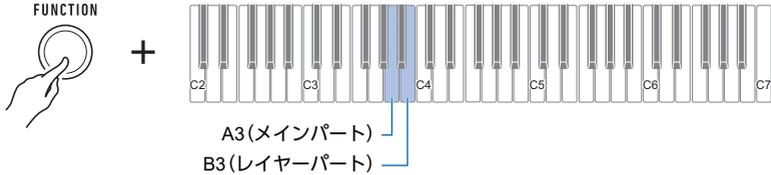
5. レイヤーを解除するには、FUNCTIONを押したまま、C3鍵盤を押します。

各パートの音量を変える

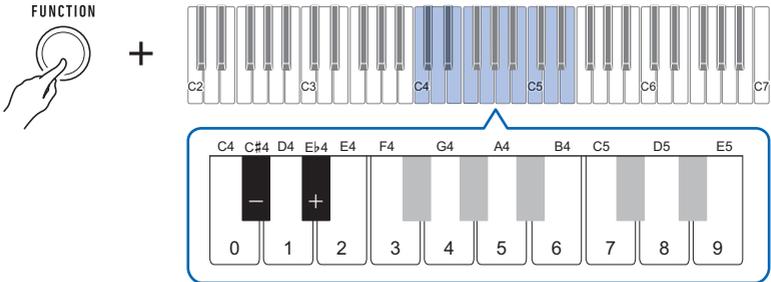
レイヤーがオンのときに、メインパートとレイヤーパートそれぞれの音量を調節できます。

1. FUNCTIONを押したまま、A3鍵盤またはB3鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



2. C4～E5鍵盤を使って、音量を設定します。



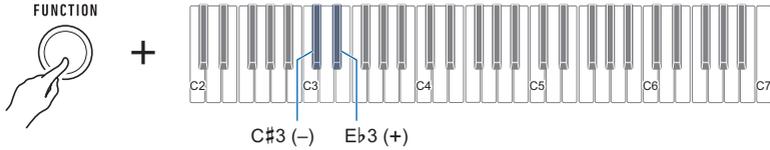
- 音量は0～127の範囲で設定できます。
- -/+ 鍵盤を押すと、音量が1ずつ上下します。鍵盤を長押しすると連続して変えられます。
- 0～9鍵盤を押して、音量の値を直接入力することもできます。
例: 音量20なら、“2→0”と入力します。手順3でFUNCTIONを離すまで、音量は変わりません。
音量120なら、“1→2→0”と入力します。3桁目を入力するとすぐに音量が変わります。
- -/+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

音の高さをオクターブ単位で変える(オクターブシフト)

音の高さをオクターブ単位で上げ下げできます。

1. FUNCTIONを押したまま、C#3鍵盤またはEb3鍵盤を押します。



鍵盤音名	鍵盤を押したときの動作
C#3	音の高さを1オクターブ下げます。
E♭3	音の高さを1オクターブ上げます。

- -3~+3オクターブの範囲で設定できます。
- 0になると、区切り音が鳴ります。
- -/+鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

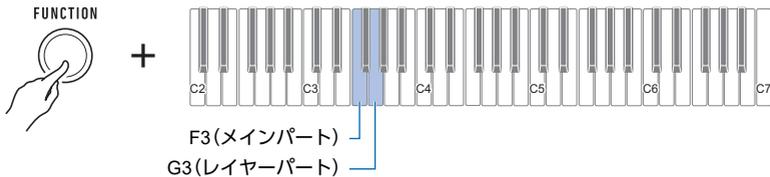
2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

各パートの音の高さをオクターブ単位で変える(パートオクターブシフト)

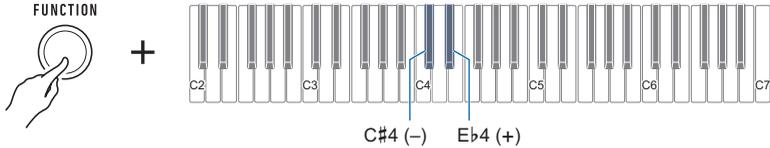
メインパートとレイヤーパートそれぞれの音の高さをオクターブ単位で上げたり下げたりします。

1. FUNCTIONを押したまま、F3鍵盤またはG3鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



2. C#4鍵盤またはEb4鍵盤を押します。



鍵盤音名	鍵盤を押したときの動作
C#4	音の高さを1オクターブ下げます。
E♭4	音の高さを1オクターブ上げます。

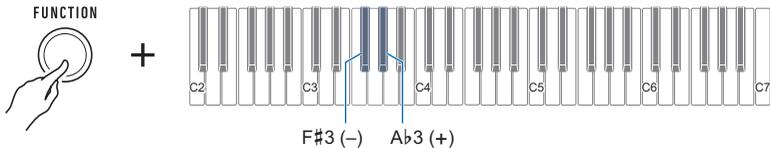
- -3～+3オクターブの範囲で設定できます。
- 0になると、区切り音が鳴ります。
- -/+鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。
- パートの音色を変更した場合、パートオクターブシフト値は変更した音色のおすすめの値になります。音色のおすすめ値については、[66ページ「音色リスト」](#)をご覧ください。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

音の高さを半音単位で変える(トランスポーズ)

音の高さを半音単位で全体的に上げ下げできます。難しい調(キー)を弾き慣れた調で弾きたい場合や、歌う人の声の高さに合わせて伴奏の調を上げ下げしたいときに便利です。

1. FUNCTIONを押したまま、F#3鍵盤またはA♭3鍵盤を押します。



鍵盤音名	鍵盤を押したときの動作
F#3	音の高さを半音下げます。
A♭3	音の高さを半音上げます。

- 上下1オクターブ(-12から+12半音まで)の範囲で設定できます。
- 0になると、区切り音が鳴ります。
- -/+鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

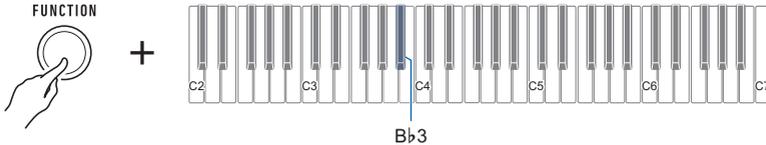
2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

音の高さを微調整する(チューニング)

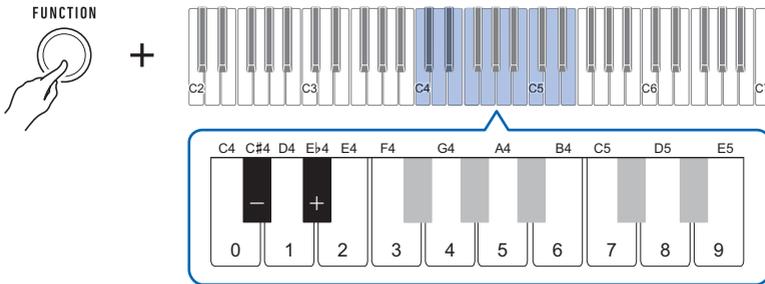
A4の音を基準に楽器全体の音の高さを調整することができます。(0.1Hz単位)

1. FUNCTIONを押したまま、B♭3鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



2. C4～E5鍵盤を使って、音の高さを設定します。



- 周波数は415.5～440.0Hz～465.9Hzの範囲で設定できます。
- -/+ 鍵盤を押すと、A4の音の周波数が0.1Hzずつ上下します。鍵盤を長押しすると連続して変えられます。
- 周波数が整数(440や441など)になると、区切り音が鳴ります。
- 0～9鍵盤で整数部分の3桁を入力してFUNCTIONを離すと、小数第一位は0になります。
- -/+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

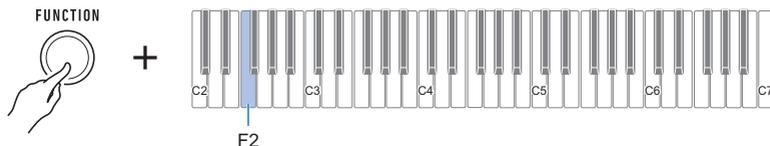
鍵盤の音律(スケールチューニング)を変える

鍵盤の音律を設定して通常の音律(12平均律)以外の音律を使う音楽(インド音楽、アラビア音楽、クラシック音楽など)の演奏ができます。17種類のプリセットの音律から、好きな音律を選ぶことができます。

■音律を変える

1. FUNCTIONを押したまま、F2鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



通知音が鳴り、音律の選択状態になります。

2. C2～E3鍵盤で音律を選びます。

鍵盤音名	音律名
C2	平均律
C#2	純正律長調
D2	純正律短調
E♭2	ピタゴラス音律
E2	キルンベルガー 第三法
F2	ヴェルクマイスター 第1技法第3法
F#2	ミーントーン(中全音律)
G2	ラスト
A♭2	バヤティ
A2	ヒジャーズ
B♭2	サバ
B2	ダシュティ
C3	チャハルガー
C#3	セガー
D3	グジャリ・トーディ
E♭3	チャンドラコونس
E3	チャルケシ

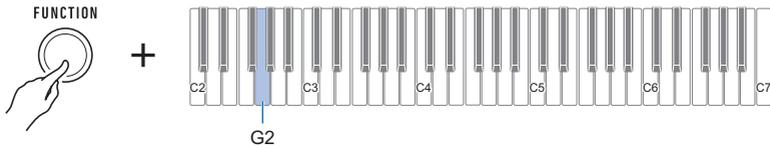
通知音が鳴り、音律が設定されます。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

■音律の基音を変える

1. FUNCTIONを押したまま、G2鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



通知音が鳴り、音律の基音の選択状態になります。

2. C2～B2鍵盤で音律の基音を選びます。

鍵盤音名	音律の基音
C2	C
C#2	C#
D2	D
E \flat 2	E \flat
E2	E
F2	F
F#2	F#
G2	G
A \flat 2	A \flat
A2	A
B \flat 2	B \flat
B2	B

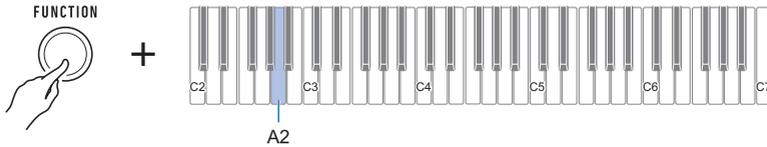
通知音が鳴り、音律の基音が設定されます。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

■ピアノのストレッチチューニングをオフにする

ピアノでは通常、高音はより高めに、低音はより低めに調律します。この調律をストレッチチューニングといいます。

1. FUNCTIONを押したまま、A2鍵盤を押します。



ピアノのストレッチチューニングがオフになります。

- A2鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
高い音が発音:オン
低い音が発音:オフ

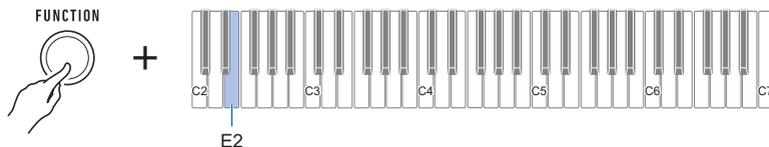
2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

音質を補正する(イコライザー)

特定の音域を強調したり、音の印象を柔らかくしたりといった音質補正の設定をすることができます。

1. FUNCTIONを押したまま、E2鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



通知音が鳴り、イコライザー設定の選択状態になります。

2. C2～A2鍵盤でイコライザー設定を選びます。

鍵盤音名	設定の種類	内容
C2	スタンダード	通常の設定
C#2	ベース +	低音を強調します。
D2	トレブル +	高音を強調します。
E♭2	LOUDネス	全体の音を強くします。
E2	メロウ	柔らかい印象の音にします。
F2	ブライツ	明るい印象の音にします。
F#2	ロック	ロックに最適な音にします。
G2	ダンス	ダンスに最適な音にします。
A♭2	ジャズ	ジャズに最適な音にします。
A2	クラシック	クラシックに最適な音にします。

通知音が鳴り、イコライザーの種類が設定されます。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

演奏を録音する (MIDI レコーダー)

自分の演奏した曲をそのまま録音して再生できます。

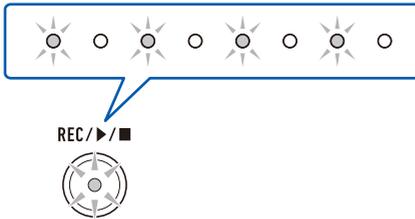
演奏を録音・再生する

弾いたそのままの演奏を録音します。

1. 音色などを設定して、録音の準備をします。
2. REC/▶/■を押します。



REC/▶/■が点滅して、録音の待機状態になります。



3. 演奏します。

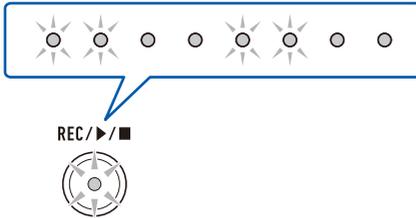
REC/▶/■が点灯して、録音がはじまります。

メモ

- 1曲に録音できる音符数は、最大約40,000音符で、録音できる残りの音符数が100以下になると、REC/▶/■が点滅し、残りがなくなるとREC/▶/■が消灯して、録音が止まります。
- 1曲に録音できる小節数は、最大約999小節で、録音できる残りの小節数が32以下になると、REC/▶/■が点滅し、残りがなくなるとREC/▶/■が消灯して、録音が止まります。
- メトロノームを鳴らしながら録音することができます。14ページ「メトロノームを使う」をご参照ください。

4. 録音を終了するには、REC/▶/■を押します。

REC/▶/■が点滅して、録音演奏の再生状態になり、プリカウントが鳴った後に、録音した演奏の再生がはじまります。



5. 再生を止めるにはREC/▶/■を押します。

REC/▶/■が消灯して、録音した演奏が止まります。

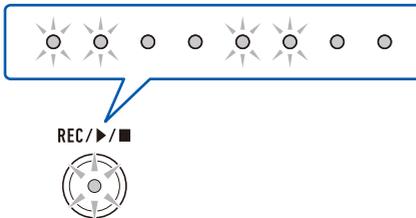
重要

- 録音中に本機の電源が切れると、録音した内容は消去されます。
- 新しく録音すると、以前に録音した内容は消去されます。
- 使用する音色やリバーブの設定によって、録音時と再生時で音の鳴り方が変わることがあります。

■録音した演奏をあとから再生するには

1. REC/▶/■を何度か押して、録音演奏の再生状態にします。

- 録音した演奏の再生がはじまります。



■MIDIレコーダーで記録される内容

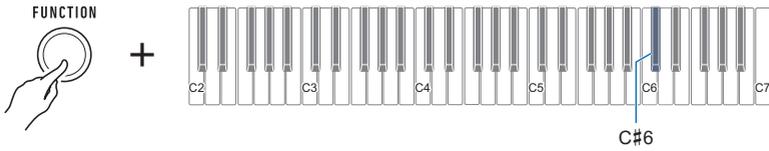
MIDIレコーダーを使った録音では、下記の操作が記録されます。

- 鍵盤演奏およびペダル操作
- 音色
- タッチレスポンス
- サステイン
- リバーブ
- オクターブシフト
- パート音量
- 音律
- レイヤー

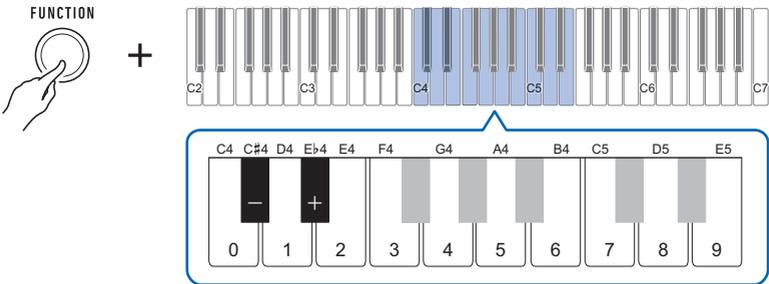
録音した演奏の音量を変える

1. FUNCTIONを押したまま、C#6鍵盤を押します。

- 手順2までFUNCTIONを離さないでください。



2. C4～E5鍵盤を使って、音量を設定します。



- 音量は0～10の範囲で設定できます。
- -/+ 鍵盤を押すと、音量が1ずつ上下します。鍵盤を長押しすると連続して変えられます。
- 0～9 鍵盤を押して、音量の値を直接入力することもできます。
- -/+ 鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

録音した演奏を消去する

1. REC/▶/■を長押しします。

通知音が鳴り、録音した演奏が消去されます。

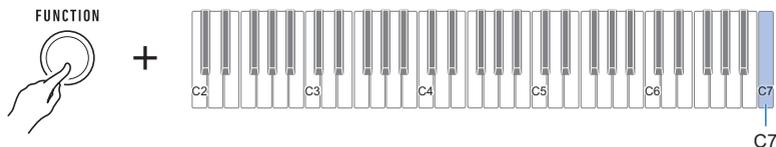


楽器の設定を保存する・読み込む(マイセットアップ)

本機のセットアップ(音色などの設定一式)を保存することができます。保存したセットアップは、特定の曲を演奏する際など、必要に応じて呼び出すことができます。

マイセットアップに保存する

1. FUNCTIONを押したまま、C7鍵盤を長押しします。



通知音が鳴り、設定を保存します。

2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

保存できる項目

マイセットアップで以下の項目を保存できます。

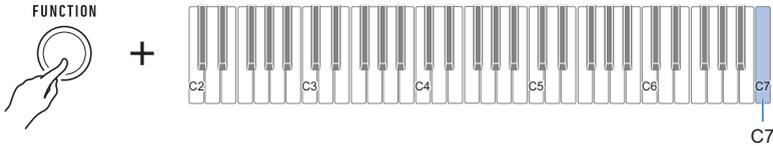
- 音色(メイン、レイヤー)
- サステイン
- サステインタイム(メインパート、レイヤーパート)
- レイヤー
- タッチレスポンス
- タッチオフペロシティ
- オクターブシフト
- パートオクターブシフト(メイン、レイヤー)
- トランスポーズ
- ペダル
- ペダル効果パート(メイン、レイヤー)
- メトロノーム拍子
- メトロノーム音量
- テンポ
- パート音量(メイン、レイヤー)
- 録音曲音量
- サラウンド
- リバースタイプ
- イコライザー
- 音律タイプ
- 音律基音
- ピアノストレッチチューニング
- チューニング
- オーディオインセンターキャンセル

マイセットアップから読み込む

1. FUNCTIONを押したまま、C7鍵盤を押します。



- C7鍵盤を長押しすると、設定されているセットアップが上書きされてしまいます。C7鍵盤は長押ししないでください。



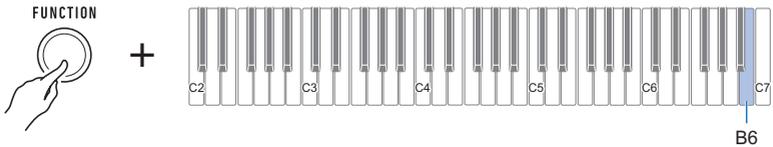
通知音が鳴り、設定を読み込みます。

2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

起動時にセットアップを読み込む

本機の電源を入れたときに、保存したセットアップの読み込み設定ができます。

1. FUNCTIONを押したまま、B6鍵盤を押します。



設定がオンになります。

- B6鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。
高い音が発音: オン
低い音が発音: オフ

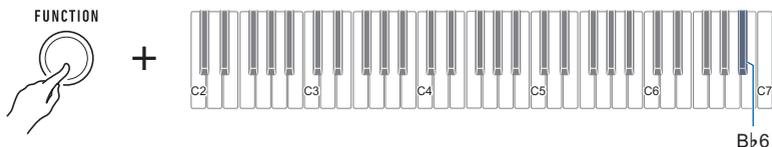
2. FUNCTIONを離して設定を終了します。

機能設定を変更する

FUNCTIONと鍵盤を使って、さまざまな設定ができます。

設定操作について

1. 設定したい項目と、設定に使用する鍵盤の位置を、44～51ページの「設定に使用する鍵盤一覧」で確認します。
2. FUNCTIONを押したまま、手順1で確認した鍵盤を押して設定を行います。
 - 操作に伴って通知音が鳴ります。
 - 例:通知音のオン、オフを設定するには、B♭6鍵盤を押します。51ページ「④ 通知音」を参照してください。



3. FUNCTIONから指を離して、設定を終了します。

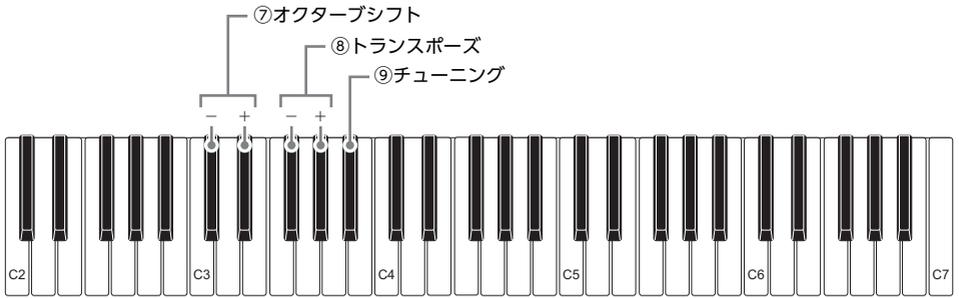
メモ

- 以下の設定項目は、上記手順1、2の後に、⑰ 0～9鍵盤または⑱ -/+ 鍵盤で数値を設定します。
 - ⑨ チューニング
 - ⑬ パートオクターブシフト(メイン)
 - ⑭ パートオクターブシフト(レイヤー)
 - ⑮ パート音量 (メイン)
 - ⑯ パート音量 (レイヤー)
 - ⑳ タッチオフ ベロシティ
 - ㉑ サステインタイム(メインパート)
 - ㉒ サステインタイム(レイヤーパート)
 - ㉓ MIDIアウト チャンネル (メインパート)
 - ㉔ MIDIアウト チャンネル (レイヤーパート)
 - ㉕ プログラム チェンジ送信
 - ㉘ 録音曲音量

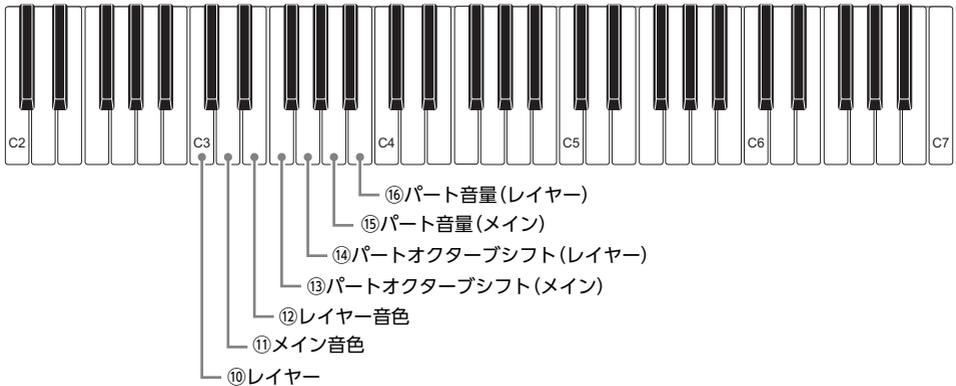
設定に使用する鍵盤一覧



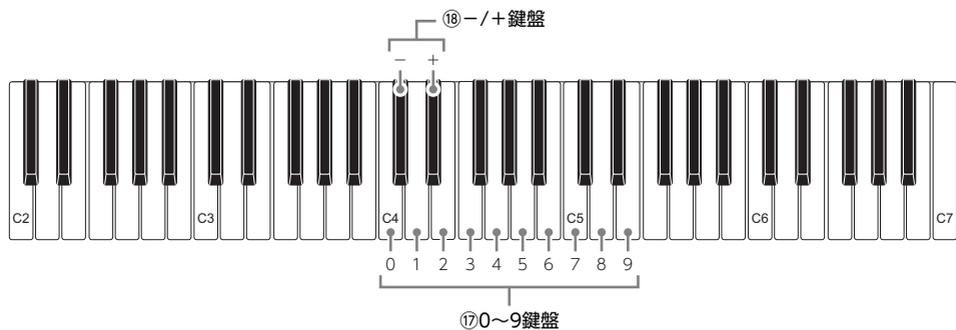
項目	設定値	内容	備考
①リバーブ	オフ、オン (初期値:オン)	リバーブ機能による音の響きをなくします。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音:オン 低い音が発音:オフ
②リバーブタイプ	リバーブタイプ設定値一覧 (27ページ参照) (初期値:音色依存)	音の響きを変えます。	
③イコライザー	イコライザー設定値一覧 (37ページ参照) (初期値:スタンダード)	音を補正します。	
④音律タイプ	音律設定値一覧 (34ページ参照) (初期値:平均律)	鍵盤の音律を設定します。	
⑤音律基音	音律基音設定値一覧 (35ページ参照) (初期値:C)	音律の基音を変更します。	
⑥ピアノストレッチチューニング	オフ、オン (初期値:オン)	ピアノのストレッチチューニングをオフにします。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音:オン 低い音が発音:オフ



項目	設定値	内容	備考
⑦オクターブシフト	-3~0~+3 (初期値:0)	音の高さをオクターブ単位で上げ下げできます。	
⑧トランスポーズ	-12~0~+12 (初期値:0)	音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりします。	
⑨チューニング	415.5Hz~440.0Hz~ 465.9Hz (初期値:440.0)	A4の音を基準に楽器全体の音の高さを0.1Hz単位で調節します。	



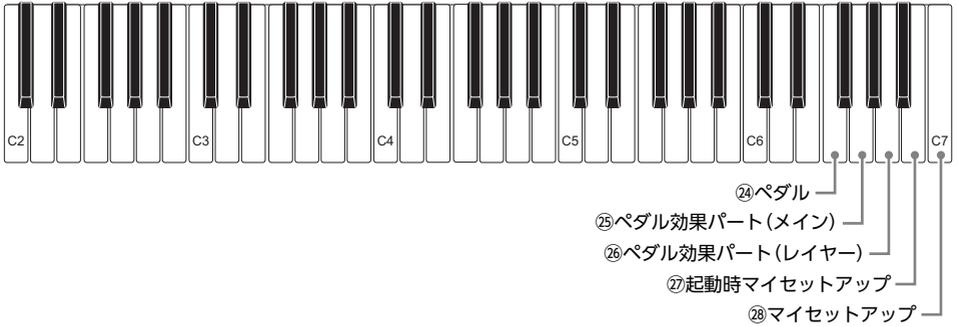
項目	設定値	内容	備考
⑩レイヤー	オフ、オン (初期値:オフ)	音を重ねることができます。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音:オン 低い音が発音:オフ
⑪メイン音色	音色リスト (66ページ参照) (初期値:1 (C2) STAGE PIANO)	メインの音色を変えることができます。(20ページ参照)	
⑫レイヤー音色	音色リスト (66ページ参照) (初期値:43 (F#5) STRINGS)	レイヤーの音色を変えることができます。(29ページ参照)	
⑬パートオクターブシフト(メイン)	-3~0~+3 (初期値:音色依存)	メインパートの音の高さをオクターブ単位で上げ下げできます。	
⑭パートオクターブシフト(レイヤー)	-3~0~+3 (初期値:音色依存)	レイヤーパートの音の高さをオクターブ単位で上げ下げできます。	
⑮パート音量(メイン)	0~127 (初期値:127)	メインパートの音量を上げ下げします。	
⑯パート音量(レイヤー)	0~127 (初期値:80)	レイヤーパートの音量を上げ下げします。	



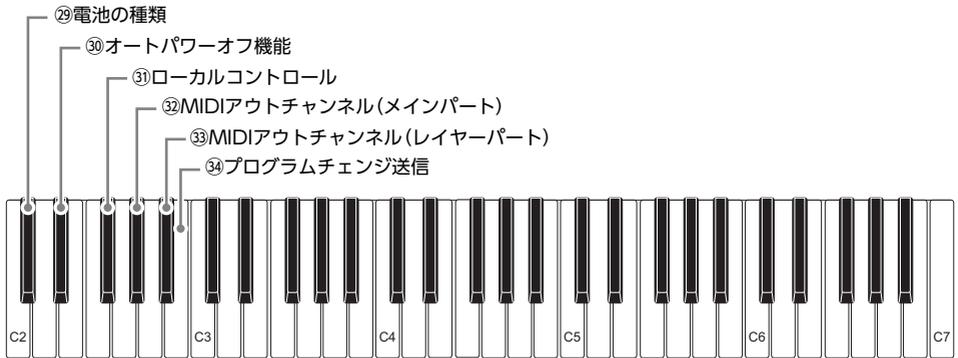
項目	設定値	内容	備考
⑰0～9鍵盤	—	数値の入力に使用します。	
⑱-/+鍵盤	—	数値の入力に使用します。	



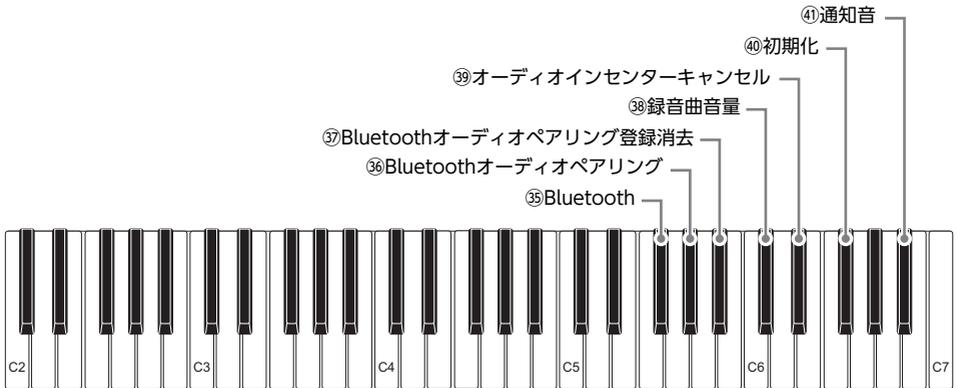
項目	設定値	内容	備考
①9 タッチレスポンス	オフ、軽い、普通、重い (初期値:普通)	鍵盤を弾く強さに応じた音量の変わり具合を変えます。 (22ページ参照)	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 低い音が1回発音: オフ 高い音が1回発音: 軽い 高い音が2回発音: 普通 高い音が3回発音: 重い
②0 タッチオフペロシティ	1~127 (初期値:100)	タッチレスポンスがオフのときの音量を調節できます。	
②1 サステイン	オフ、オン (初期値:オフ)	音の余韻を伸ばし、豊かな響きで演奏します。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音: オン 低い音が発音: オフ
②2 サステインタイム(メインパート)	0~9 (初期値:5)	サステインがオンのとき、メインパートの音の余韻の長さを変えます。	
②3 サステインタイム(レイヤーパート)	0~9 (初期値:5)	サステインがオンのとき、レイヤーパートの音の余韻の長さを変えます。	



項目	設定値	内容	備考
②④ペダル	ペダルサステイン、ソステヌート、ソフト、メトロノーム (初期値:ペダルサステイン)	ペダルの機能を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 音が1回発音:ペダルサステイン 音が2回発音:ソステヌート 音が3回発音:ソフト 音が4回発音:メトロノーム
②⑤ペダル効果パート(メイン)	オフ、オン (初期値:オン)	メインパートに対するペダル機能の効果を切ります。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音:オン 低い音が発音:オフ
②⑥ペダル効果パート(レイヤー)	オフ、オン (初期値:オン)	レイヤーパートに対するペダル機能の効果を切ります。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音:オン 低い音が発音:オフ
②⑦起動時マイセットアップ	オフ、オン (初期値:オフ)	オンに設定すると、起動時にマイセットアップを自動的にロードします。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音:オン 低い音が発音:オフ
②⑧マイセットアップ	—	楽器の設定が保存できて、保存した設定を読み込むことができます。	<ul style="list-style-type: none"> 長押し:保存 短押し:読み込み



項目	設定値	内容	備考
②⑨電池の種類	アルカリ、ニッケル水素 (初期値: アルカリ)	使用している電池の種類を設定します。(6ページ参照)	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 音が1回発音: アルカリ 音が2回発音: ニッケル水素
③⑩オートパワーオフ機能	オフ、オン (初期値: オン)	オートパワーオフ機能の有効/無効を設定します。(13ページ参照)	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音: オン 低い音が発音: オフ
③①ローカルコントロール	オフ、オン (初期値: オン)	楽器内で発生する演奏情報を、楽器内の音源に送る/送らないの設定をします。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音: オン 低い音が発音: オフ
③②MIDIアウトチャンネル(メインパート)	オフ、1~16 (初期値: 1)	メインパート演奏でMIDIアウトされるMIDIメッセージのチャンネルを変更します。	<ul style="list-style-type: none"> -/+鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。 オフになると、区切り音が鳴ります。
③③MIDIアウトチャンネル(レイヤーパート)	オフ、1~16 (初期値: 2)	レイヤーパート演奏でMIDIアウトされるMIDIメッセージのチャンネルを変更します。	<ul style="list-style-type: none"> -/+鍵盤を同時に押すと初期値に戻ります。 オフになると、区切り音が鳴ります。
③④プログラムチェンジ送信	0~127	MIDIアウトチャンネル(メインパート)で指定したチャンネルに対してプログラムチェンジメッセージを送信することができます。	



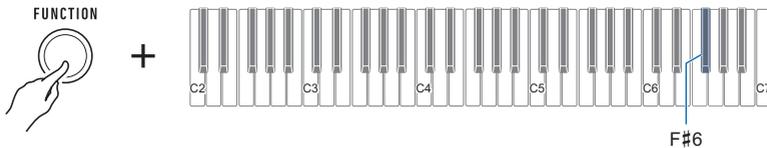
項目	設定値	内容	備考
③⑤ Bluetooth	オフ、オン (初期値: オン)	Bluetooth機能をオフにします。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 長押し(高い音が発音): オン 長押し(低い音が発音): オフ
③⑥ Bluetoothオーディオペアリング	—	Bluetoothオーディオ対応機器と接続するためのペアリング状態にできます。 (59ページ参照)	長押し: ペアリング ペアリング状態で長押し: ペアリング解除
③⑦ Bluetoothオーディオペアリング登録消去	—	Bluetoothオーディオ対応機器とのペアリング登録を消去します。 (60ページ参照)	長押し: 消去
③⑧ 録音曲音量	0~10 (初期値: 10)	録音曲の音量を変えます。	
③⑨ オーディオインセンターキャンセル	オフ、オン (初期値: オフ)	AUDIO IN 端子またはBluetoothオーディオから入力された音のセンター定位をキャンセルします。	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤を押すたびに鳴る通知音で、押した後の設定を確認できます。 高い音が発音: オン 低い音が発音: オフ
④⑩ 初期化	—	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	長押し: 実行準備 (長押しの後) 短押し: 実行
④⑪ 通知音	オフ、オン (初期値: オン)	オフに設定すると、 FUNCTION を押したまま鍵盤で設定を行ったときに通知音が鳴らなくなります。	

重要

- 音色などの各種設定は、本機の電源を入れなおすと初期値に戻ります(12ページ)。
- 電源を切っても、以下の設定は保存されます。
 - MIDIアウトチャンネル(メインパート、レイヤーパート)
 - Bluetooth
 - 起動時マイセットアップ
 - オートパワーオフ機能
 - 電池の種類

工場出荷時の状態に戻す

1. FUNCTIONを押したまま、F#6鍵盤を長押しします。



通知音が鳴り、初期化の準備状態になります。

- **FUNCTION**を押したまま、F#6鍵盤を離します。

2. FUNCTIONを押したまま、もう一度F#6鍵盤を押します。

初期化が実行されると通知音が鳴り、本機が再起動されます。

3. FUNCTIONを離して設定を終了します。

外部機器と接続する

スマートデバイスとリンクする (APP機能)

本機をスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと接続すると、次のことができます。

- 本機の鍵盤でスマートデバイス用アプリのレッスン機能を使う。
- スマートデバイスのアプリで再生した楽曲データを本機の音源で鳴らす。

重要

- 接続するスマートデバイスは、モバイルデータ通信を行わない設定 (機内モードなど) にしてください。

■スマートデバイス用アプリをダウンロードする

弊社ウェブサイトのソフトウェアダウンロードから「Chordana Play」をダウンロードして、お使いのスマートデバイスにインストールしてください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/CT-S1/>



スマートデバイスと接続する

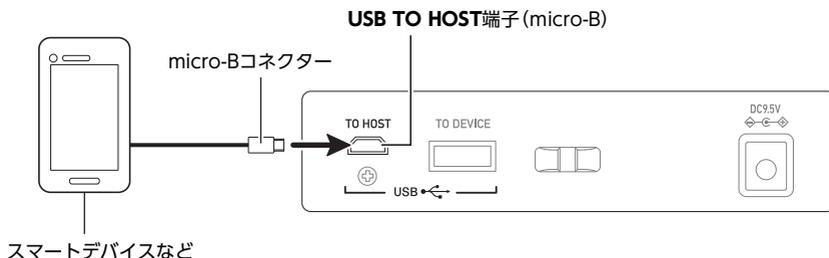
市販のUSBケーブルで接続する方法と、Bluetooth機能で接続する方法があります。

■本機とスマートデバイスをケーブルで接続する

接続に必要なケーブルに関する情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://web.casio.com/app/ja/play/support/connect.html>

1. 53ページ「スマートデバイス用アプリをダウンロードする」を参照し、お使いのスマートデバイスに、アプリをインストールします。
2. **USB TO HOST**端子とスマートデバイスの端子を、市販のUSBケーブルで接続します。
 - 本機とスマートデバイスを接続した後は、各種操作をスマートデバイス上のアプリで実施します。各種操作について詳しくは、アプリの説明書をご覧ください。



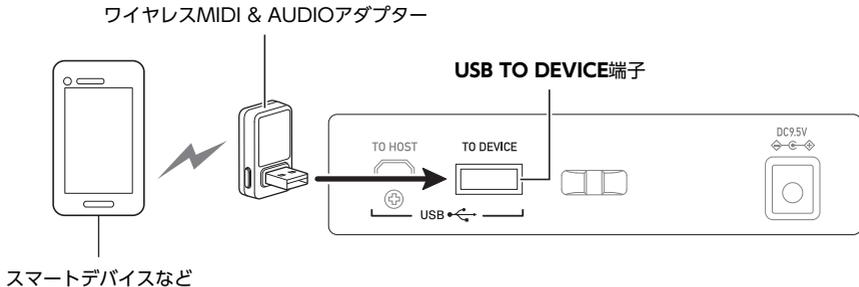
重要

- 2m以下のUSBケーブルで接続してください。
- USBケーブルとオーディオケーブルは同時にスマートデバイスに接続しないでください。
- USBケーブルで接続してスマートデバイス用アプリ(弊社製)を使う場合、**USB TO DEVICE**端子は使用しないでください。

■本機とスマートデバイスをBluetooth機能で接続する

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター(別売品:WU-BT10)をお使いいただくことにより、Bluetooth機能で接続することができます。

1. 53ページ「スマートデバイス用アプリをダウンロードする」を参照し、お使いのスマートデバイスに、アプリをインストールします。
 2. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを**USB TO DEVICE**端子に接続します(10ページ)。
- 本機とスマートデバイスを接続した後は、各種操作をスマートデバイス上のアプリで実施します。各種操作について詳しくは、アプリの説明書をご覧ください。



重要

- スマートデバイス用アプリで接続待ちの間は、本機の操作をしないでください。
- Bluetooth接続では、通信環境やスマートデバイスの性能により、アプリのレッスン機能で、音の遅れや歪みが目立つ場合があります。このような場合は、以下のことをお試しください。
 - アプリの説明書で、レッスンの使い方やMIDI再生品質を確認する。
 - ケーブルで接続する。
- Bluetooth機能で接続してスマートデバイス用アプリ(弊社製)を使う場合、**USB TO HOST**端子は使用しないでください。

パソコンと接続してMIDIを使う

本機とパソコンを接続して演奏情報 (MIDIデータ) の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトで録音したり、パソコンから本機へデータを送ったりして音を鳴らすことができます。

■パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

● 対応OS

Windows 8.1 ※1

Windows 10 ※2

macOS (OS X/Mac OS X) 10.7、10.8、10.9、10.10、10.11、10.12、10.13、10.14、10.15、11.0

※1 Windows 8.1 (32bit版、64bit版)

※2 Windows 10 (32bit版、64bit版)

● USB端子

⚠ 重要

- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。

📄 メモ

- 対応OSについての最新のサポート情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://support.casio.jp/emi/manual/CT-S1/>



■接続方法

⚠ 重要

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
 - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機の**USB TO HOST**端子を接続します。
 - ケーブルは、データ通信に対応したUSB2.0または1.1のA-microBコネクタータイプを使用してください。
3. 本機の電源を入れます。
 - 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。
4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。
5. パソコンの音楽ソフト(市販品)の設定で、MIDIデバイスとして「CASIO USB-MIDI」を選びます。
 - MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

⚠ 重要

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。

🔍 メモ

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や、接続についての最新のサポート情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/CT-S1/>



■MIDI設定を行う

下記MIDI関連の設定については、44～51ページの「[設定に使用する鍵盤一覧](#)」をご参照ください。

- MIDIアウトチャンネル(メインパート、レイヤーパート)
- ローカルコントロール

オーディオ機器とケーブルで接続する

市販の再生機器やアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

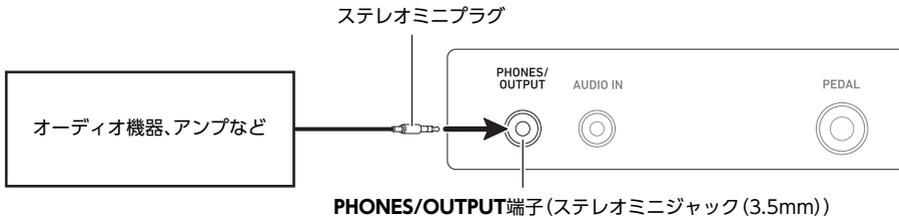
■本機の音を外部機器で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

本機に接続する側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。
- ステレオミニプラグは、必ず3.5mmで3極のプラグをご使用ください。それ以外のタイプは適応しません。



■外部機器の音を本機で鳴らす

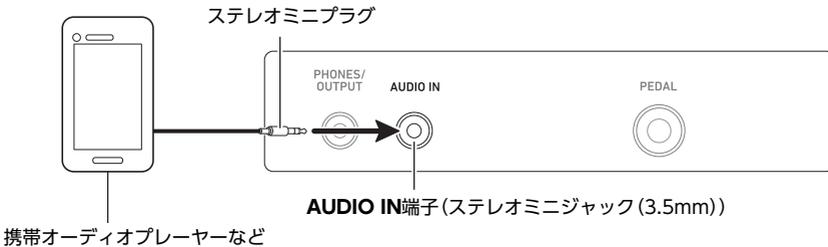
接続には市販の接続コードが使用できません。

本機に接続する側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

本機で外部機器からの入力音を鳴らす場合の音量は、外部機器側で調整してください。本機側では、音量は調整できません。

❗重要

- 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴える場合は、外部機器の音量を下げてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が本機の演奏音より小さい場合、本機の各パートの音量を調節してください。30ページ「各パートの音量を変える」をご参照ください。
- 外部機器の音量が大きすぎると、本機を保護するため電源が切れることがあります。このような場合は、外部機器の音量を下げてください。
- ステレオミニプラグは、必ず3.5mmで3極のプラグをご使用ください。それ以外のタイプは適応しません。



■オーディオインセンターキャンセル(ボーカルカット)

オンにすると、**AUDIO IN**端子またはBluetoothオーディオから入力された音のボーカルをカット(消去、低減)します。センター定位の音をキャンセルする機能ですので、ボーカル以外の音もカットされる場合があります。効果の度合いは、入力する音によって異なります。

設定方法は、44～51ページの「設定に使用する鍵盤一覧」をご参照ください。

📌メモ

- **AUDIO IN**端子からの入力音には、本機内蔵のエフェクト(リバーブ)はかかりません。

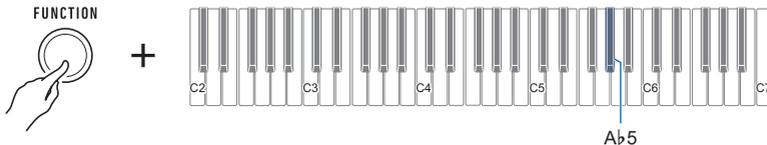
Bluetoothオーディオ対応機器の音を鳴らす (Bluetoothオーディオペアリング)

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター (別売品: WU-BT10) を使い、本機とBluetoothオーディオ対応機器をペアリングして、外部機器の再生音を本機のスピーカーから鳴らすことができます。

重要

- ペアリング操作のときは、本機と外部機器の音量を小さめに絞っておいてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が本機の演奏音より小さい場合、本機の各パートの音量を調節してください。30ページ「各パートの音量を変える」をご参照ください。
- 外部機器の音量が大きすぎると、本機を保護するため電源が切れることがあります。このような場合は、外部機器の音量を下げてください。
- Bluetoothの特性により、音が遅れて聞こえます。気になる場合は、ケーブルで接続してください。

1. 電源 (電源) を長押しして本機の電源を切ります。
2. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターをUSB TO DEVICE端子に接続します (10ページ)。
3. 電源 (電源) を押して本機の電源を入れます。
4. FUNCTIONを押したまま、Ab5鍵盤を長押しします。



音が数秒おきに鳴り、Bluetoothオーディオペアリング状態になります。

- Bluetoothオーディオペアリング状態から抜きたい場合は、もう一度Ab5鍵盤を長押しします。音が鳴り止み、Bluetoothオーディオペアリング状態が解除されます。

5. FUNCTIONを離します。
6. Bluetoothオーディオ対応機器の設定画面で「WU-BT10 AUDIO」を選び、本機とペアリングします。
音が鳴り、Bluetoothオーディオ対応機器が接続されます。
7. Bluetoothオーディオ対応機器で音を鳴らします。
Bluetoothオーディオ対応機器から出力された音が、本機のスピーカーから鳴ります。

メモ

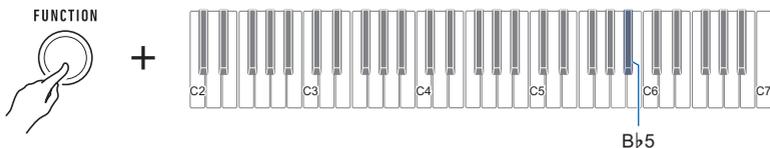
- 本機とBluetoothオーディオ対応機器のBluetooth機能を両方オンにする必要があります。
- 本機のBluetooth機能の設定を変更するには、[61ページ「Bluetooth機能をオフにする」](#)をご参照ください。
- 最後に接続したBluetoothオーディオ対応機器の情報はワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターに登録されます。その後は、Bluetoothオーディオペアリング操作をしなくても、自動的にBluetoothオーディオペアリングされます。

Bluetoothオーディオ対応機器とのペアリング登録を消去する

メモ

- 下記操作を実行すると、本機と接続したBluetoothオーディオ対応機器とのペアリング登録が消去されます。Bluetoothオーディオ対応機器との接続がうまくいかない場合は、下記操作の後で、[59ページ「Bluetoothオーディオ対応機器の音を鳴らす \(Bluetoothオーディオペアリング\)」](#)を実行してください。
- 下記操作の実行後は、本機と接続したBluetoothオーディオ対応機器側でも、本機とのペアリング登録を削除してください。操作については、Bluetoothオーディオ対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1. **電源**を長押しして本機の電源を切ります。
2. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを**USB TO DEVICE**端子に接続します ([10ページ](#))。
 - ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを接続していないと、Bluetoothオーディオペアリング登録は消去できません。
3. **電源**を押して本機の電源を入れます。
4. **FUNCTION**を押したまま、**B♭5**鍵盤を長押しします。



音が鳴り、Bluetoothオーディオペアリング登録が消去されます。

5. **FUNCTION**を離して設定を終了します。

Bluetooth MIDI対応機器と接続する

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター (別売品:WU-BT10) を使い、本機とBluetooth MIDI対応機器を接続することができます。

1. 電源 (電源) を長押しして本機の電源を切ります。
2. ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを**USB TO DEVICE**端子に接続します (10ページ)。
3. 電源 (電源) を押して本機の電源を入れます。
4. Bluetooth MIDI対応機器にインストールしたアプリの設定画面で「WU-BT10 MIDI」を選び、本機と接続します。

重要

- Bluetooth MIDI対応機器との接続待ちの間は、本機の操作をしないでください。

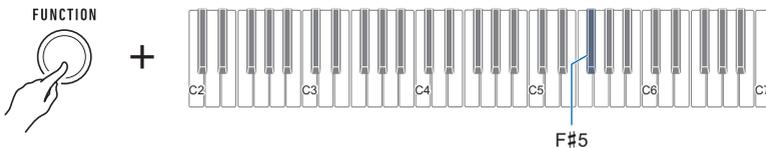
メモ

- 本機とBluetooth MIDI対応機器のBluetooth機能を両方オンにする必要があります。
- 本機のBluetooth機能の設定を変更するには、61ページ「Bluetooth機能をオフにする」をご参照ください。
- Bluetooth MIDI対応機器を使用するたびに、上記の接続操作が必要になります。

Bluetooth機能をオフにする

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター (別売品:WU-BT10) を使用してBluetooth接続をしない場合、Bluetooth機能をオフにできます。

1. **FUNCTION**を押したまま、F#5鍵盤を長押しします。



音が鳴り、Bluetooth機能がオフになります。

- F#5鍵盤をもう一度長押しすると音が鳴り、Bluetooth機能がオンになります。
- F#5鍵盤を長押しするたびに鳴る通知音で、押し後の設定を確認できます。

高い音が発音: オン[※]

低い音が発音: オフ

※ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使用しているときは、オンになるまで待機音が鳴ります。

2. **FUNCTION**を離して設定を終了します。

困ったときは

症状	対策
付属品	
梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中もご確認ください。
電源	
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> アダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認してください(5ページ)。 新しい電池に交換する、またはACアダプターを使用してください(5ページ)。
大きな音を出すと、突然電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池に交換する、またはACアダプターを使用してください(5ページ)。 外部機器の音量を下げてください。
30分ほど弾かないでいると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能を解除してください(13ページ)。
音	
鍵盤を弾いても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の設定(14ページ)を変えてください。 本機背面のPHONES/OUTPUT端子にプラグが挿さっていないか確認してください。 本機の電源を入れなおしてください(12ページ)(各種設定は初期化されます)。
メトロノームの音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> メトロノームの音量を変えます(14ページ)を確認して調整してください。 本機の電源を入れなおしてください(12ページ)(各種設定は初期化されます)。
音が鳴りっぱなしで止まらなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れなおしてください(12ページ)(各種設定は初期化されます)。 新しい電池に交換する、またはACアダプターを使用してください(5ページ)。
鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が64(音色によっては32)を超えると発生します。故障ではありません。
音量や音質が変わってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 音量の設定(14ページ)を変えてください。 本機の電源を入れなおしてください(12ページ)(各種設定は初期化されます)。 新しい電池に交換する、またはACアダプターを使用してください(5ページ)。
特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違って聴こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。

症状	対策
端の方の鍵盤を弾いていると、同じオクターブの音が繰り返されるように聴こえる音色がある。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聴こえる)。	<ul style="list-style-type: none"> • トランスポーズ(32ページ)やチューニング(33ページ)の設定を確認して調整してください。 • 本機の電源を入れなおしてください(12ページ)(各種設定は初期化されます)。
音の響きが急に変わったように感じる。	<ul style="list-style-type: none"> • リバーブの設定(27ページ)を確認して調整してください。 • 本機の電源を入れなおしてください(12ページ)(各種設定は初期化されます)。
パソコンとの接続	
MIDIデータの送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認してください(55ページ)。 • 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてください。

製品仕様

型式	CT-S1BK/CT-S1WE/CT-S1RD
鍵盤	61鍵
タッチレスポンス機能	3種類、オフ
同時発音数	最大64音
音色機能	
プリセット音色	61音色、主要音色ボタン、アドバンスドトーン
その他	レイヤー、サステイン、トーンメモリー
エフェクト機能	リバーブ(24種類、トーン、オフ)、コーラス(音色に組み込み済み)、ディレイ(音色に組み込み済み)、DSP(一部の音色に組み込み済み)
マスターエフェクト	イコライザー(プリセット10種類)
アクティブエフェクト	ボリュームシンクイコライザー、サラウンド
外部入力エフェクト	AUDIO IN端子またはBluetoothオーディオからの入力に対するセンターキャンセル(ボーカルカット)
メトロノーム機能	
拍子	拍子ベル音オフ、1~16拍子
テンポ	20~255
MIDIレコーダー	リアルタイム録音、再生
曲数	1曲
容量	1曲あたり約40,000音符
デモ機能	デモ曲(1曲)、ピアノデモ曲(10曲)
機能音量調節	メトロノーム
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ(-12 ~ 0 ~ +12半音)
オクターブシフト	メインパート/レイヤーパート、±3オクターブ
チューニング	A4 = 415.5~465.9Hz(初期値: 440.0Hz)
スケール	プリセットスケール17種類
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
APP機能	
対応デバイス	iOS/Android(USB端子で接続)

端子	
PHONES/OUTPUT端子	ステレオミニジャック
AUDIO IN端子	ステレオミニジャック (入力インピーダンス:10kΩ、 入力感度:200mV)
USB TO HOST端子	micro B
USB TO DEVICE端子	タイプA
PEDAL端子	標準ジャック (ペダルサステイン、ソステヌート、ソフト、 メトロノーム)
電源端子	DC 9.5V
電源	2電源方式
電池	単3形アルカリ乾電池または単3形充電式ニッケル水素電池6本使用
連続動作時間	約3時間 (アルカリ乾電池使用時)、約3時間 (充電式ニッケル水素電池 使用時) [*] ご使用の電池の種類や演奏方法、使用環境によっては連続動作時間 が短くなることがあります。
ACアダプター	AD-E95100L (JEITA規格・極性統一形プラグ付き)
オートパワーオフ機能	約30分後 (キャンセル可能)
スピーカー	13cm×6cm (楕円形) ×2 (出力:2.5W + 2.5W)
消費電力	9.5V --- 7.5W
サイズ	幅93.0×奥行25.8×高さ8.3cm
質量	約4.5kg (電池含まず)

※eneloop (エネルギーープ) 使用時の測定値
[eneloop]は、パナソニックの登録商標です。

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

音色リスト

番号	選択鍵盤 音名	音色名※1	トーン バリエーション	プログラム チェンジ	バンク セレクト MSB	バンク セレクト LSB※2	DSP トーン※3	アドバンスド レイヤー トーン※4	パート オクターブ シフト
PIANO									
1	C2	STAGE PIANO	STANDARD	0	2	0/64	○		0
2	C#2	PIANO PAD	ADVANCED	1	2	0/64		○	0
3	D2	DYNAMIC PIANO	MODERN	2	2	0/64	○		0
4	E♭2	CLASSIC GRAND	VINTAGE	3	2	0/64			0
5	E2	ROCK PIANO	STANDARD	4	2	0/64	○		0
6	F2	BALLAD PIANO	MODERN	5	2	0/64	○		0
7	F#2	HONKY-TONK	VINTAGE	6	2	0/64			0
8	G2	MELLOW PIANO	VINTAGE	7	2	0/64	○		0
9	A♭2	BREEZING PIANO	MODERN	8	2	0/64	○		0
10	A2	BASS/PIANO	STANDARD	9	2	0/64	○		0
E.PIANO 1									
11	B♭2	STAGE E.PIANO	STANDARD	10	2	0/64	○		0
12	B2	PHASER E.PIANO	ADVANCED	11	2	0/64	○		0
13	C3	DYNO E.PIANO	MODERN	12	2	0/64	○		0
14	C#3	ELECTRIC GRAND	VINTAGE	13	2	0/64	○		0
E.PIANO 2									
15	D3	DIGITAL E.PIANO	STANDARD	14	2	0/64	○		0
16	E♭3	AMP 60's E.PIANO	ADVANCED	15	2	0/64	○		0
17	E3	GALAXIA E.PIANO	MODERN	16	2	0/64	○		0
18	F3	TREMOLO 60's E.PIANO	VINTAGE	17	2	0/64	○		0
19	F#3	CRUNCH E.PIANO	VINTAGE	18	2	0/64	○		0
20	G3	LUCENT E.PIANO	MODERN	19	2	0/64	○		0
21	A♭3	AUTO PAN E.PIANO	VINTAGE	20	2	0/64	○		0
22	A3	DIGITAL E.PIANO 2	MODERN	21	2	0/64	○		0
ORGAN									
23	B♭3	JAZZ ORGAN	STANDARD	22	2	0/64	○		0
24	B3	VELO.ORGAN	ADVANCED	23	2	0/64	○		0
25	C4	ROCK ORGAN	MODERN	24	2	0/64	○		0
26	C#4	PIPE ORGAN	VINTAGE	25	2	0/64	○		0
27	D4	AMP ORGAN	ADVANCED	26	2	0/64	○		0
28	E♭4	REED ORGAN	STANDARD	27	2	0/64	○		0
29	E4	GOSPEL ORGAN	MODERN	28	2	0/64	○		0
30	F4	F-ORGAN	VINTAGE	29	2	0/64	○		0
31	F#4	V-ORGAN	VINTAGE	30	2	0/64	○		0
32	G4	CATHEDRAL ORGAN	STANDARD	31	2	0/64	○		0
KEYBOARD									
33	A♭4	HARPSICHORD	STANDARD	32	2	0/64	○		0
34	A4	WAH CLAVI	ADVANCED	33	2	0/64	○		0
35	B♭4	CLAVI	MODERN	34	2	0/64	○		0
36	B4	TAPE FLUTE	VINTAGE	35	2	0/64	○		0

番号	選択鍵盤 音名	音色名※1	トーン バリエーション	プログラム チェンジ	バンク セレクト MSB	バンク セレクト LSB※2	DSP トーン※3	アドバンスド レイヤー トーン※4	パート オクターブ シフト
SYNTH									
37	C5	SYNTH-BRASS	STANDARD	36	2	0/64	○		0
38	C#5	MAGNI SYNTH-PAD	ADVANCED	37	2	0/64	○	○	0
39	D5	SYNTH-STRINGS	MODERN	38	2	0/64			0
40	E♭5	SAW LEAD	VINTAGE	39	2	0/64	○		0
41	E5	VOCODER	ADVANCED	40	2	0/64	○		0
42	F5	SYNTH-CHOIR	MODERN	41	2	0/64	○		0
OTHERS									
43	F#5	STRINGS	STANDARD	42	2	0/64	○		0
44	G5	GUITAR PAD	ADVANCED	43	2	0/64		○	0
45	A♭5	VIBRAPHONE	MODERN	44	2	0/64	○		0
46	A5	SYMPHONIC BRASS	VINTAGE	45	2	0/64			0
47	B♭5	FRENCH ACCORDION	STANDARD	46	2	0/64	○		0
48	B5	BRASS VELO.FALL	ADVANCED	47	2	0/64			0
49	C6	SOUND TRACK	VINTAGE	48	2	0/64	○		0
50	C#6	VL-TONE	VINTAGE	49	2	0/64			0
51	D6	CT E.PIANO	VINTAGE	50	2	0/64			0
52	E♭6	CT HARP	VINTAGE	51	2	0/64			0
53	E6	CZ BASS	VINTAGE	52	2	0/64			-1
54	F6	CZ TRUMPET	VINTAGE	53	2	0/64			0
55	F#6	CZ VIOLIN	VINTAGE	54	2	0/64			0
56	G6	CZ E.PIANO	VINTAGE	55	2	0/64			0
57	A♭6	CZ GUITAR	VINTAGE	56	2	0/64			0
58	A6	VZ SEEGOD	VINTAGE	57	2	0/64			0
59	B♭6	VZ BRASS	VINTAGE	58	2	0/64			0
60	B6	VZ BASS	VINTAGE	59	2	0/64			-1
61	C7	VZ HARP	VINTAGE	60	2	0/64			0

• 音色番号50から61は、往年のカシオ名器の音を再現したCASIO CLASSIC TONESです。

※1 青色の音色名は、ボタン操作(20ページ参照)で選択可能な主要音色です。

※2 64を受信した場合は、コーラスやリバーブの状態が音色に合わせて変化します。0を受信した場合は、変化しません。

※3 専用のエフェクトを使用した音色です。

※4 3音以上のキーを同時に押さえたとき、その和音のみに異なるサウンドを重ね合わせることができる機能です。和音は分厚く、旋律はシンプルな音色で演奏したい場面に効果的です。

■VL-TONE(音色リスト50番)鍵盤一覧

選択鍵盤音名	音色	
C1~B1	-	
C2	Rhythm	March
C#2		Waltz
D2		4-Beat
E♭2		Swing
E2		Rock 1
F2		Rock 2
F#2		Bossanova Part A
G2		Bossanova Part B
A♭2		Samba Part A
A2		Samba Part B
B♭2		Rhumba Part A
B2		Rhumba Part B
C3		Beguine
C#3		"Po"
D3		"Pi"
E♭3		"Sha"
E3~G9	Violin	

- VL-TONEを選択すると、上記のようにC2~E♭3にRhythm音色、E3~G9にViolin音色が割り当てられます。

設定項目一覧

C2	C2	リバーブ	
	C#2	電池の種類	
	D2	リバーブタイプ	
	E♭2	オートパワーオフ機能	
	E2	イコライザー	
	F2	音律タイプ	
	F#2	ローカルコントロール	
	G2	音律基音	
	A♭2	MIDIアウトチャンネル(メインパート)	
	A2	Piano Stretch Tuning	
	B♭2	ピアノストレッチチューニング	
	B2	プログラムチェンジ送信	
	C3	C3	レイヤー
		C#3	オクターブシフト(-)
D3		メイン音色	
E♭3		オクターブシフト(+)	
E3		レイヤー音色	
F3		パートオクターブシフト(メイン)	
F#3		トランスポーズ(-)	
G3		パートオクターブシフト(レイヤー)	
A♭3		トランスポーズ(+)	
A3		パート音量(メイン)	
C4	B♭3	チューニング	
	B3	パート音量(レイヤー)	
	C4	0~9鍵盤(0)	
	C#4	-/+鍵盤(-)	
	D4	0~9鍵盤(1)	
	E♭4	-/+鍵盤(+)	
	E4	0~9鍵盤(2)	
	F4	0~9鍵盤(3)	
	F#4		
	G4	0~9鍵盤(4)	
C5	A♭4		
	A4	0~9鍵盤(5)	
	B♭4		
	B4	0~9鍵盤(6)	
	C5	0~9鍵盤(7)	
	C#5		
	D5	0~9鍵盤(8)	
	E♭5		
	E5	0~9鍵盤(9)	
	F5	タッチレスポンス	
C6	F#5	Bluetooth	
	G5	タッチオフベロシティ	
	A♭5	Bluetoothオーディオペアリング	
	A5		
	B♭5	Bluetoothオーディオペアリング登録消去	
	B5		
	C6	サステイン	
	C#6	録音曲音量	
C7	D6	サステインタイム(メインパート)	
	E♭6	オーディオインセンタキャンセル	
	E6	サステインタイム(レイヤーパート)	
	F6	ペダル	
	F#6	初期化	
	G6	ペダル効果パート(メイン)	
	A♭6		
	A6	ペダル効果パート(レイヤー)	
	B♭6	通知音	
	B6	起動時マイセットアップ	
C7	C7	マイセットアップ	

MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ~ 16	1 ~ 16 1 ~ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × *****	
ノート ナンバー	音域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127 *1	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v = 1 ~ 127 × 8nH v = 64	○ 9nH v = 1 ~ 127 × 9nH v = 0, 8nH v = **	**は関係なし
アフター・ タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロール・ チェンジ	0 1 5 6, 38 7 10 11 64 65 66 67 71 72 73 74 84 91 100, 101	○ × × × × × × *2 × ○ *2 ○ *2 × ○ × × × × × ×	○ ○ ○ *3 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ *3	バンク・セレクト モジュレーション ポルタメント・タイム データ・エントリー LSB/MSB ポリリウム パン エクスプレッション ホールド1 ポルタメント・オン/オフ リヌメート ソフト フィルター・レゾナンス リリース・タイム アタック・タイム ブライトネス ポルタメント・コントロール リバーブ・センド・レベル RPN LSB/MSB
プログラム・チェンジ	設定可能範囲	○ *****	○ 0 ~ 127	
エクスクルーシブ		○ *3	○ *3	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	オール・サウンド・オフ リセット・オール・コントローラー ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング システム・リセット	× × × × × ×	○ ○ × ○ ○ ×	
備考	*1: 音色による *2: アサイナブル・ペダルの設定により択一 *3: 送受信対応RPN, システム・エクスクルーシブ・メッセージの詳細は MIDI Implementation (https://support.casio.jp/emi/manual/CT-S1/) 参照			

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり
× : なし

CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA2103-A

© 2021 CASIO COMPUTER CO., LTD.